蘭印つひに無條件降伏

上陸僅か九日にして占領
時に九日午後三時

大本營發表（九日午後十時廿分）蘭印方面帝國陸軍部隊はジャバ島の敵軍主力をスラバヤおよびバンドン附近に兩斷包圍してこれに猛攻を加へ、上陸後僅かに九日にして蘭印軍およそ九萬三千、米英濠軍およそ五千をして全面的無條件降伏せしめたり、時に三月九日午後三時なり

午前十時全島停戰命令

【バタビヤ九日同盟至急報】九日午後三時半現地軍司令部發表＝八日午後三時（日本時間）軍司令官一行はカリジャチに到着、同地にて蘭印總督、司令官ほか要人四名と會見、蘭印軍の全面的降伏を要求せるも敵は當初バンドン地區の降伏のみに應じありしが、遂にわが要求に應じ全面的降伏を承認し、本九日午前十時までにラジオをもつて全島に停戰を命令することを約せり

蘭印軍全面的に受諾

【バタビヤ九日同盟至急報】在バタビヤ蘭印側機關は九日午後四時左の如く發表した＝蘭印軍司令部は本日午後三時半日本軍司令官提出の降伏條件を全面的に受諾した

【バタビヤ九日同盟至急報】八日午後三時チャルダ・スタルケンボルグ蘭印總督は飛行機でカリジャチ飛行場に飛來し、わが軍に對し「全面的降伏の用意ある旨」申入れた

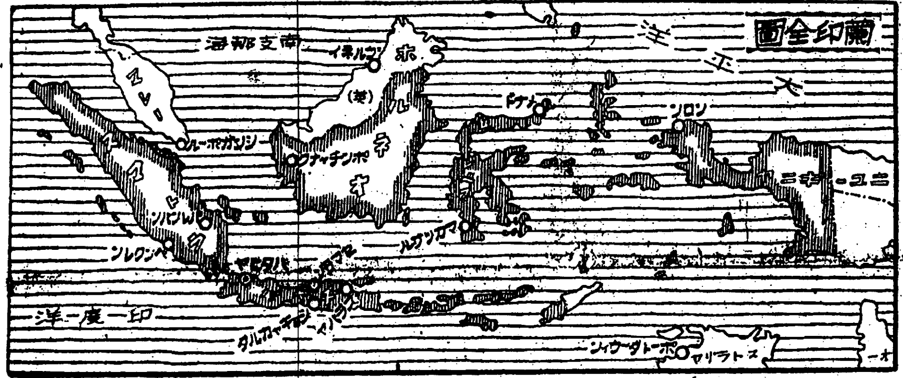
敵萬策盡きて慴伏
白旗掲げ停戰を申入

【〇〇基地八日同盟至急報】七日午後十一時三十分蘭印軍司令部參謀ブレスマンは、日本軍司令部に白旗を掲げて出頭し全面的停戰希望を申出た

【〇〇基地八日同盟至急報】ジャバ西部および中部進撃のわが諸精鋭部隊によつて三方面よりするバンドン攻略戰は七日に至つて遂に最高潮に達し、わが包圍猛攻はバンドン周邊の敵既設陣地を震撼、退路なきバンドン守備軍を底なしの恐怖に叩き込みつゝあつたが、俄然同日深更十一時三十分に至り蘭印軍司令部參謀ブ・スマン少將以下軍使が敵抵抗線より白旗を掲げてわが〇〇部隊本部に來り、停戰を申出づるに至つた、バンドン防衞の萬策は盡きて皇軍精鋭の前に慴伏したのだ、よつて〇〇部隊では三十分後の八日午前零時を期しイブラホテルにおいて停戰條件の交渉を行ふことを決定、バタビヤ占領後バンドン周邊にひし／＼とつめ寄せたわが精鋭に再び凱歌が擧つた

必勝不敗の態勢
蘭印降伏で確立さる

【東京電話】[illegible]の前日に當り蘭印全土はつひにわれに降伏した、この赫々たる大戰果によつて米英蘭[illegible]が[illegible]してゐた[illegible]は[illegible]か三ケ月にして完全に粉碎されたのである、すなはち皇軍の[illegible]なる作戰により香港、比島、マレーの[illegible]は次々に[illegible]され、さらに[illegible]ボルネオ、セレベス、スマトラの[illegible]わが[illegible]下に[illegible]した、[illegible]の[illegible]と[illegible]んだジャバ島における[illegible]もわが[illegible]に[illegible]り、米英[illegible]は完全に一[illegible]されるに至つた、またラングーンの[illegible]によつて[illegible]の[illegible]ルートも[illegible]されたので[illegible]わが[illegible]作戰は[illegible]大東亞における[illegible]を[illegible]とし、[illegible]どの[illegible]なる[illegible]されて[illegible]上よりするも[illegible]立するに至つた、[illegible]東亞共榮圏[illegible]に一[illegible]するのみである



スラバヤ完全に占領

【〇〇基地九日同盟】八日午後三時五十分スラバヤに突入、ジャバ島東部上陸部隊の一部はジョンバン西南方面より進撃、ついでこれを完全に占領した

瞬時に四機撃墜
バタビヤ上空で空中戰

【〇〇基地八日同盟至急報】[illegible]陸軍[illegible]部隊の[illegible]は[illegible]からの[illegible]〇〇[illegible]を求めてバタビヤ上空に[illegible]、[illegible]八機よりなるスピットファイヤー[illegible]を[illegible]し、[illegible]なる空中戰闘を開始瞬時にしてその[illegible]を[illegible]した、次で[illegible]の一[illegible]は[illegible]のチリノタン[illegible]上にあつた大[illegible]に[illegible]を加へこれを炎上せしめ[illegible]した

正義の審判降る
本然の姿に歸る蘭印

【東京電話】蘭印戰ついに降りこゝに全東印度諸島の運命は決定した、彼等もまた自らの實力を知らず米英の吹く反日の笛に踊らされて敢て火中の栗を拾つたスタルケンボルグ總督以下蘭印政府首腦者の今の心境は如何、彼らが多年にわたり日本及び日本人に加へた[illegible]まる侮辱と[illegible]とは實に枚擧の遑がなく、わが在留邦人は戰爭直前涙を呑み、拳を握りしめ引揚げて來たが、今バイテンゾルグの總督官邸の屋上高く日章旗が翻り威儀正しく[illegible]に深きものがあらう、[illegible]印[illegible]は[illegible]と[illegible]の間に位置して東西五千キロ、南北二千キロにおよび太平洋、印度洋とを分つ戰略上の要地であり、大東亞戰の天目山と見られるところ、この地域の確保はシンガポール[illegible]にも決して劣らぬ重大意義をもつてゐる、[illegible]の[illegible]によつて[illegible]ニュージーランドは全く孤立化し英國の印度洋支配は根こそぎ覆されたのである、また資源作戰のうへから見れば蘭印は他の南方諸地區とは比較にならぬ重要性があり、その[illegible]はわれ／＼が大東亞戰爭を戰ひ拔くために缺くことの出來ないものがあるだけでなく米英にとつては錫、ゴム、規那[illegible]の完全な喪失を意味するものだ、オランダはこの蘭印諸島を「赤道にかけられたエメラルドの首飾」と誇つてゐたが、今や皇軍の[illegible]下に本然の姿に歸つたのだ、蘭印七千萬のインドネシヤ人は昨年オランダ本國が五日間にしてドイツに[illegible]された時「[illegible]か五日間で」といふ[illegible]を歌つてオランダを[illegible]したが、彼らが長く[illegible]してゐたオランダ政權打倒の日は今や皇軍の手によつて齎されたのだ、彼らが歡呼の聲で皇軍を迎へてゐる姿が目に浮ぶやうである、かくてこゝに[illegible]の前イギリスとゝもに海賊行爲をもつて[illegible]を[illegible]したオランダに公平な天の審判は降つた

今村均中將

蘭印方面最高指揮官
今村均中將と發表

大本營發表（九日午後十時廿五分）蘭印方面陸軍最高指揮官は陸軍中將今村均なり

【東京電話】蘭印方面陸軍最高指揮官として最後の[illegible]ジャバ島を[illegible]し、[illegible]を[illegible]した今村均中將はマレー作戰[illegible]最高指揮官山下中將とゝもに[illegible]として[illegible]をかけられてゐる[illegible]である、大東亞戰爭[illegible]と同時に[illegible]作戰[illegible]最高指揮官として[illegible]の[illegible]を[illegible]ふたかをボルネオ、セレベス島の要[illegible]を次々攻略、さらに遠くビスマルク、セラム、チモール[illegible]など各島の[illegible]を[illegible]し、去る一日[illegible]の空[illegible]よりする[illegible]を[illegible]してつひにジャバ島三ケ所より[illegible]上陸した、このジャバ島[illegible]の[illegible]は[illegible]なる作戰は[illegible]の[illegible]するところであつて[illegible]すがにマレー作戰の山下將軍とゝもに[illegible]の大[illegible]を[illegible]て[illegible]した[illegible]に示す如く[illegible]、[illegible]、[illegible]三[illegible]を[illegible]して何れも[illegible]行く所可ならざるなしといふ[illegible]である、すなはち[illegible]の[illegible]を[illegible]し[illegible]した[illegible]、[illegible]、[illegible]などを[illegible]して昭和十一年二月[illegible]、同十二年八月[illegible]から[illegible]の[illegible]に補され、さらに十三年六月第一[illegible]に補され[illegible]ルートの[illegible]その他[illegible]の作戰に[illegible]を樹てた、次で十六年二月[illegible]中將が[illegible]に[illegible]した後を襲つて南支方面[illegible]最高指揮官に補されたが、今次大戰勃發に[illegible]り蘭印作戰[illegible]最高指揮官に補されたので[illegible]ある

社説
けふ陸軍記念日

大東亞戰爭の最中、而も皇軍の向ふところ常勝一轉、英米蘭[illegible]力は日々東亞より驅逐しつゝある時、日露戰役戰古の大捷を回顧する陸軍記念日を迎へて、感慨の實に深いものがある。大東亞戰爭は、英米人の東洋制覇を打破して、東亞の新秩序を建設する[illegible]からみて、遙かに日露戰爭の延長であることはいふまでもない。日露戰爭こそは歐洲人と戰つて日本が初めて大捷を贏ち得たのであつて近代新日本はこれを契機として[illegible]の[illegible]を遂げたのである。[illegible]の意義は[illegible]なるものがあり、[illegible]戰爭に勝ち、支那事變に大勝をなし、更に今日大東亞戰爭において歷史的の偉大なる戰果を收めつゝあるのも、要するに日露戰役以來わが陸海軍の[illegible]する[illegible]精神の顯現發露に他ならない。實に日露戰役こそは[illegible]皇軍の今日をあらしめたものである。日露戰爭當時における國民的努力は云ふまでもなく、今次大東亞戰爭下においても國民は當時に劣らぬ擧國一致の精神を發揮してゐる。しかしながら大東亞戰爭は日露戰役に比較して、作戰地域は厖大に、而も敵は英國一國にあらずして米國、[illegible]、和蘭の四ケ國を相手にしてをり、世界最強を誇る英米の侮り知れない底力を思ふとき現在までの皇軍の赫々たる戰果に照らして光榮ある勝利は疑ふべくもないが、その前途は遼遠であるを[illegible]て國民の努力も日露戰役當時のものがなくてはならぬ。我々は日露戰役先人の偉業を[illegible]すると同時にその[illegible]に[illegible]する努力と覺悟をなさねばならぬ。英米が屈服するまで、勝つて勝ち拔き、遂に世をして[illegible]せしむべき東亞の大業を成就せしめなければならぬ。これが我等後代國民に課された唯一の義務でなければならぬ。

ラングーン完全占領

ビルマに進攻する皇軍は直ちに要衝モールメインを拔き、破竹の進撃をつゞけてゐた皇軍部隊は二月十日マルタバンを占領後、作戰企圖を[illegible]、今日に至つたが、果然八日首都ラングーンを完全に占領し、ビルマ戰線の[illegible]を[illegible]した。[illegible]作戰はその[illegible]に[illegible]の如く、マレー作戰同様ジャングルと[illegible]とに苦闘しつつ[illegible]せる[illegible]であつたことは[illegible]に難くなく、[illegible]の[illegible]もさることながら、かゝる自然の[illegible]をよく[illegible]して、こゝに首都を[illegible]占領せるに至つた皇軍の[illegible]まじき[illegible]と努力に對しては大なる敬意を表したい。ラングーンはいふまでもなくビルマの首都であつて、ビルマ政府は[illegible]に[illegible]を[illegible]つてマンダレーに[illegible]してゐるとはいへ、[illegible]、[illegible]上の重要性はビルマ所在の[illegible]にとつて生命ともいふべき[illegible]であり、それだけにその[illegible]の[illegible]は[illegible]にとつて死命を制せる大打撃であらう。[illegible]のむ[illegible]にとつてはこ[illegible]き日本軍の[illegible]に[illegible]を[illegible]るが、[illegible]が新しく[illegible]しつゝあるヒマラヤ公路の[illegible]も皇軍[illegible]の[illegible]に[illegible]によつて完全に[illegible]されてゐるとしてのビルマの[illegible]は皇軍の手によつて[illegible]の[illegible]に[illegible]り得る[illegible]ないのである。[illegible]印度の[illegible]は[illegible]の[illegible]によつて必ずや一[illegible]を來すものと見られ、その[illegible]は極めて大きい。[illegible]はビルマ人に[illegible]してビルマ人のビルマとして獨立に[illegible]するならば、[illegible]んでこれを[illegible]するものである。ビルマの[illegible]を[illegible]に[illegible]することを[illegible]するものである。ビルマ人は[illegible]の[illegible]にして[illegible]なる大東亞[illegible]の[illegible]をよく[illegible]して、こ[illegible]の[illegible]の[illegible]に[illegible]力すべき秋であることを[illegible]めて[illegible]い。

シッタン河
五日間の大殲滅戰
敵死體山を築く奮戰
わが軍、左岸を完全に制壓す

【ビルマ前線〇〇九日同盟】皇軍の[illegible]各部隊は一月十八日南北二[illegible]所においてビリン河の[illegible]河に成功以後廿三日まで[illegible]な敵の[illegible]を[illegible]して[illegible]を[illegible]げ遂にシッタン河の[illegible]に到達した、このビリン、シッタン兩河の間には敵がラングーン防衞の決戰陣地として[illegible]な[illegible]陣地を[illegible]、英本國兵をまじへた[illegible]部隊約四、五千を配した[illegible]所であつたが巧妙なる作戰と敵の防[illegible]の[illegible]を衝かれ[illegible]とシッタン河畔の大[illegible]を[illegible]、[illegible]た[illegible]と[illegible]をつた[illegible]十七師團に英本國兵のみによりなるヨークシャー[illegible]隊は全[illegible]をうけるに至つた

すなはち[illegible]敵は十八日ビリン河南北二[illegible]所におけるわが軍のビリン河[illegible]を[illegible]し、北方ビルマ作戰はじめてとも[illegible]すべき[illegible]な[illegible]を行ひ[illegible]か反[illegible]の企圖を[illegible]へ示したがわが[illegible]は南方[illegible]河部隊の[illegible]に[illegible]つかず、わが部隊が[illegible]四キロ[illegible]チャン[illegible]に[illegible]したのをはじめてこれを知り[illegible]、ビリン河の第一線陣地を[illegible]て[illegible]にいたつた、わが部隊はこゝで[illegible]を[illegible]り[illegible]に[illegible]つて南方に[illegible]する敵約二百を[illegible]、引續き[illegible]を[illegible]けわが〇〇部隊は二十日午前九時半ビリン西方十二キロのトンズン山の[illegible]を[illegible]、この西方[illegible]で英人大[illegible]の指揮する四百の[illegible]の反[illegible]を[illegible]の末[illegible]、廿二日早朝にはビリン、シッタン[illegible]最大の[illegible]チャイトを完全に占領した、この間[illegible]部隊は北方山[illegible]を[illegible]、山[illegible]に[illegible]る[illegible]の[illegible]を[illegible]して廿二日早朝には早くもシッタン河東方廿キロの[illegible]まで進出したゝめチャイト附近の[illegible]な[illegible]によつてゐた敵も退路を斷たれる[illegible]を生じて[illegible]に[illegible]士[illegible]で[illegible]の進[illegible]を喰ひ止めんとチャイトの[illegible]を[illegible]に[illegible]はず[illegible]、[illegible]部隊[illegible]下に[illegible]を開始したのであつた、ところが[illegible]心の[illegible]士[illegible]もなんらの[illegible]を[illegible]せず[illegible]部隊の[illegible]な[illegible]力を[illegible]たわが[illegible]としての[illegible]戰は急[illegible]で[illegible]する[illegible]の[illegible]上に[illegible]り、南方[illegible]沿ひの[illegible]部隊は廿二日午後一時チャイト西方十二キロチャッカサ附近において[illegible]の[illegible]を[illegible]、[illegible]一[illegible]を[illegible]めたて、一[illegible]に片つ端から敵を[illegible]、シッタン河畔へ[illegible]ひつめた

一方本[illegible]およびその北方を[illegible]する[illegible]隊は廿三日午前十一時快[illegible]を[illegible]けてシッタン河の[illegible]の[illegible]かるモパリン北方高地に[illegible]の退路を全く[illegible]するに成功した、これよりさき敵はわが[illegible]の[illegible]二[illegible]よりする[illegible]にシッタン左岸の[illegible]すでに守り[illegible]しと[illegible]めたか廿二日正午頃より守[illegible]首[illegible]以下[illegible]しくシッタン[illegible]を[illegible]が急[illegible]を[illegible]れ廿三日[illegible]には[illegible]部隊を[illegible]にしてシッタン[illegible]を[illegible]し自らの手で退路を[illegible]つてしまつたこゝに[illegible]な[illegible]の[illegible]と化した[illegible]二千は、あるひは河[illegible]に[illegible]れて[illegible]四キロのシッタン河下流の[illegible]河を企圖あるひは反[illegible]を企圖したが、南方よりするわが[illegible]に[illegible]されて河岸には[illegible]の山を築き、あるひは逃げ場を失ひ皇軍に[illegible]となり[illegible]して來た、[illegible]うして河中を泳いで逃げたものも河岸からのわが[illegible]の[illegible]となつて[illegible]された、かくて五日間にわたるシッタン河畔の大[illegible]戰で[illegible]敵死體八百以上（河中の[illegible]を含まず）[illegible]一千（うち英人百二十五）といふ[illegible]かしい戰果を[illegible]げ二十三日夕[illegible]、シッタン[illegible]は一人の[illegible]を[illegible]ず完全にわが[illegible]の[illegible]するところとなつた

銃劍翳し死の夜襲
逃げる英軍三千を撃滅

【シッタン河畔モパリン九日同盟】ビリン河からシッタン河へ死[illegible]の[illegible]を[illegible]び[illegible]めつゝ五十キロを六十時間不[illegible]不休の[illegible]を[illegible]け遂にシッタン河以東の[illegible]敵三千を[illegible]の[illegible]とし、これを[illegible]したわが[illegible]、[illegible]、[illegible]、杉浦、[illegible]、[illegible]各部隊の[illegible]ぶりこそビルマ作戰に輝く[illegible]を[illegible]てたものでラングーン[illegible]の[illegible]を完全に[illegible]したものであつた、一月廿日[illegible]中を[illegible]してわが[illegible]は[illegible]する[illegible]を[illegible]つて[illegible]を開始、ビリン河からシッタン河に至る五十キロの[illegible]たる[illegible]を[illegible]か一キロほど[illegible]いたばかりで再びジャングル[illegible]に入つた、わが[illegible]は山[illegible]を[illegible]なき[illegible]ジャングルを[illegible]、[illegible]と[illegible]び[illegible]を[illegible]け、二十二日夕[illegible]にシッタン河畔のモパリン[illegible]を[illegible]した、この時[illegible]林中[illegible]の指揮する一[illegible]は[illegible]に[illegible]して[illegible]を[illegible]する[illegible]で[illegible]み[illegible]に[illegible]林中[illegible]は[illegible]な[illegible]死を[illegible]げたが、[illegible]を[illegible]てたのであつた、[illegible]以來六十時間、[illegible]ます食はず不眠不休の[illegible]は[illegible]いられ、三千の敵の[illegible]に成功して、[illegible]て二十二日未明[illegible]部隊は[illegible]を[illegible]せんとして[illegible]あらゆる[illegible]火器を[illegible]して必死の[illegible]に[illegible]める敵に對し[illegible]を開始[illegible]の夜[illegible]を[illegible]して決死の突入を[illegible]、[illegible]も[illegible]に抵抗したが遂に廿三日[illegible]わが[illegible]部隊が[illegible]へ[illegible]すところ[illegible]か二、三千メートルに[illegible]した[illegible]面の敵は[illegible]を[illegible]シッタン河以東に[illegible]つた二千の[illegible]を[illegible]にしたのである、退路を[illegible]たれた[illegible]はあるひは[illegible]あるひは[illegible]され[illegible]か一部が[illegible]となつてシッタン河を[illegible]ぎ[illegible]つて逃れたのみであつた

バタビヤ早くも回復

【バタビヤ九日同盟】わが[illegible]入城以來日に[illegible]を回復しつゝある[illegible]生バタビヤ市は全市の[illegible]店も九日より一[illegible]に開店、[illegible]に[illegible]ら[illegible]な[illegible]ぶりを見せてゐる、街を行き[illegible]ふ人々の面からもすでに[illegible]日前の不安の影は[illegible]かれてをり[illegible]しき[illegible]への[illegible]込みが[illegible]はれるバタビヤ[illegible]に協力することゝなり[illegible]への一歩が[illegible]出された

解放を叫ぶ印度
對日協力民衆大會開催

【バタビヤ九日同盟】九日午前十一時からバタビヤ[illegible]で東印度島、パリンドラ[illegible]その[illegible]インドネシヤ人[illegible]の主催の下に[illegible]日協力民衆大會[illegible]つて如何なる[illegible]といへども[illegible]前に回教徒[illegible]の承認を受くべきことを要求した、[illegible]次の通り[illegible]が[illegible]の叫びをあげた、またバタビヤ[illegible]のオランダ人間にも[illegible]本[illegible]の[illegible]依[illegible]より脱して[illegible]の[illegible]を[illegible]すべきであるとの[illegible]が[illegible]されつゝある

回教徒の事前承認を要請

【アヱノスアイレス八日同盟】ボンベイ來電によれば全印回教徒聯盟總裁アリ・ジンナーは八日チャーチル首相に對しメッセージを送り英國政府は印度民族の決定に[illegible]つて如何なる[illegible]といへども事前に回教徒[illegible]の承認を受くべきことを要求した、[illegible]次の通り

英國が回教徒の事前承認なく印度問題に關して[illegible]な決定をすれば回教徒の[illegible]を[illegible]ふであらう、英國政府は印度の自治[illegible]を[illegible]求してゐる回教徒[illegible]の事前の承認なくして如何なる決定をも[illegible]してはならぬ、回教徒[illegible]は一億[illegible]千[illegible]萬の民衆を代表してゐるのであり英國の[illegible]を[illegible]求する

印度に惱む英

【ビシー九日同盟】ラングーンの陷落によつて印度防衞の[illegible]衝[illegible]は完全に皇軍の手に陷り印度防衞は今や[illegible]の[illegible]に[illegible]されるに至つたがアベス[illegible]によれば、英印度軍司令官ウェーベルは印度防衞は現在英國の[illegible]面せる最大の[illegible]であると[illegible]を[illegible]してゐる、すなはち印度[illegible]は現在その[illegible]ニュージーランド軍と大[illegible]で[illegible]ならびに[illegible]部隊が[illegible]度に[illegible]してゐる、[illegible]マドラス、ボンベイ[illegible]の[illegible]はロンドンと[illegible]東部[illegible]のスモレンスク[illegible]のそれに[illegible]する[illegible]であり、これを[illegible]する[illegible]の[illegible]は[illegible]の[illegible]も[illegible]するところである

佗美部隊に感狀
コタバル飛行場占領の偉勳

【東京電話】去る十二月八日の大東亞戰爭勃發[illegible]わがマレー作戰[illegible]の先鋒となつて[illegible]なるコタバルに上陸を敢行した佗美部隊および同[illegible]部隊に[illegible]する感狀[illegible]に[illegible]同[illegible]方面[illegible]官より左の如く[illegible]せられた

[illegible]方面[illegible]より[illegible]、[illegible]部隊は[illegible]より[illegible]、[illegible]力して[illegible]に[illegible]上、上[illegible]部隊に[illegible]する[illegible]力は充分といひ得なかつたが佗美部隊及び同[illegible]力部隊は上陸[illegible]一日をもつて[illegible]飛行場を[illegible]取し、[illegible]ちにこれをわが飛行[illegible]として[illegible]したものである

[illegible]部隊は八日夕刻に[illegible]もコ[illegible]上陸[illegible]に[illegible]したるコタバル飛行場占領の[illegible]にはコタバル市街を占領した、この[illegible]なる[illegible]に[illegible]つて[illegible]の[illegible]わが主力の[illegible]を[illegible]能となつたが同部隊もこの[illegible]により[illegible]三百名の[illegible]を出した、コタバル飛行場は[illegible]より約四キロの[illegible]にあり、わが[illegible]は同飛行場の占[illegible]により[illegible]にこゝに[illegible]を[illegible]めて、[illegible]レー[illegible]における[illegible]部隊に[illegible]する[illegible]力[illegible]および[illegible]部隊の[illegible]を容易ならしめた、なほコタバル附近の防[illegible]は飛行場及び市街に[illegible]の[illegible]を[illegible]すほか[illegible]同[illegible]一帶に[illegible]三千の[illegible]を[illegible]し[illegible]に[illegible]トーチカなどを[illegible]して[illegible]を[illegible]つてゐた

【東京電話】[illegible]九日午[illegible]マレー方[illegible]の[illegible]の[illegible]部隊に[illegible]の[illegible]を[illegible]した

感狀

佗美部隊、同[illegible]部隊
右は[illegible]の[illegible]なるコタバル附近において[illegible]の[illegible]に[illegible]し[illegible]を[illegible]て[illegible]成功し、引續き[illegible]なる敵の[illegible]を[illegible]し、[illegible]を占領し、[illegible]のマレー方面[illegible]の[illegible]を[illegible]ならしめたり、右[illegible]は[illegible]なり、よつてこゝに感狀を付與し[illegible]の[illegible]に[illegible]す
昭和十六年十二月九日
[illegible]方面[illegible]最高指揮官
[illegible]　寺内　壽一

[illegible]感狀を授與された佗美部隊[illegible]は[illegible]出身、[illegible]にはなつ[illegible]人との間に四男三女あり、[illegible]出身[illegible]、[illegible]生[illegible]、[illegible]、[illegible]

モレスビー空襲

上海特電【九日發】シドニー八日ロイター通信によれば日本空軍は七日午後又もや大擧してポートモレスビーを空襲し〇〇發に上る爆彈を十二[illegible]間に一つの[illegible]合[illegible]を加へた、[illegible]は二[illegible]をもつて[illegible]されかつて見ざる[illegible]中[illegible]に[illegible]した

よく[illegible]の[illegible]たるコタバル飛行場[illegible]を占領せる佗美部隊及び同[illegible]力部隊に對し、さきに南方[illegible]方面[illegible]最高指揮官より左の通り感狀を授與せられ、右の[illegible]大臣より[illegible]上せり

ヤバパンモア
パパイン酵素とアルモンド配劑
にきび　そばかす　しみ取り

大東亞戰下初の陸軍記念日

思ふだに悲愴！

唯大和魂で闘つたわが先人達

相似るこの難局斷乎突破せん

【東京電話】國難の秋、國民一人殘らず三月十日の今日大東亞戰下初の陸軍記念日を迎へた、嘗つて國を擧げて戰つた日露戰爭當時を偲び明日への決意を新たにすべき日である。明治卅七年二月四日御前會議で開戰が決定されたとき伊藤博文公は相互に向ひ『果して勝味があるか』と問うた、伊藤公は『勝味はない、たゞ大和魂で戰ふだけだ』そして伊藤公は悲壯な決意を洩らした

『今度の戰ひは陸軍でも海軍でも成功の見込みを持たない、しかし日本の滅亡を賭して國運を賭し戰ひをはじめねばならぬ、あの强大な露國の大軍が朝鮮に進入すれば總て朝鮮は掠奪されてしまふだらう、だから陸海軍は朝鮮でこれを防ぎ止める豫定であるけれどもこれとて成功の見込みがあるとは申されぬ、我が海軍とても敵の大軍と雌雄を決して或は皆沈沒するかも知れぬ、萬一わが軍が朝鮮で敗れ露國の軍が攻入して來た時は、及ばずながらこの博文昔の北條時宗の故事に倣ひ自ら武器をとり卒伍の中に投じ己が家内も時宗の妻子に見習はせ兵食の炊事に當らせ夫婦共々九州なり山陰道なりに出かけ、殘つた國民と共に海岸を守り一歩たりとも露兵を我國土に上らせない決心である』といはれた。

天皇陛下には米國の斡旋を依賴し給ふため金子堅太郎男（當時）をアメリカに御差遣になつた、それよりさき二月十四日の早朝のことであつた。……『突然參つて氣の毒であつた。實は近日金子が米國へ行くと聞いたが今度の場合は必ず重大なる要務を帶びて行くことと推察する、どうか身體を大切にして御國のため盡力するやうに』と……當時における御宸襟はいよいよ及ばず宮中はじめ國民一同の悲壯な決意が窺はれるのである。これこそ國民一致に必死の意氣をもつて戰ひに臨んだのであり今次の大東亞戰爭はすでに赫々たる戰果をあげたとはいへ國民各自は大いに自戒して以て長期戰に對する心がまへを新にしなければならぬ、當時わが方は敵とは比較にならぬ劣勢な兵力であつたが、絶えず攻勢に攻勢をとり遼東半島に敵前上陸を敢行するや遼陽を奪取奉天に迫り逐次敵を擊破し奉天戰場においてこれを擊碎したのである。

今次戰爭も開戰劈頭から敵の據點香港、フイリピン、馬來を攻略し今や赤道直下を越え蘭印、ジャワ方面に轉戰、さらにビルマにまで進擊してゐるがこの戰ひも日露戰爭もその本質は相通じてゐる。いま日露戰爭の原因を顧みれば露國は多年の國策として東亞に利權を獲得しひいては滿洲を併呑せんとの野望を抱くに至つた、日本は明治維新以來東洋平和の保全を使命とし特に自國の存立上朝鮮半島を他國の侵略に委ねしめざることは上古以來の國是であつた、この兩者相容れぬ國策の衝突が日露戰爭の遠因である。日清戰役の結果わが國は遼東半島を保全しかつ朝鮮の獨立をもつて東洋平和の確立を圖つたが、しかるに國策相容れぬ露國は日本が遼東半島を領有することは東洋永遠の平和に害ありとした。直ちに獨佛兩國と聯合し三國干渉をもつてわれを脅威するとともに秘かに清國と密約を結んで滿洲の利權を獨占、さらにその勢力を朝鮮に扶植せんとし明治卅一年三月には旅順、大連を租借この二つの港を通ずる滿洲鐵道の敷設權を獲得するに至つた、たまたまこの年支那に起つた團匪の亂は彼の野望をとげしむるに恰好の機會となり露國は出兵に名を藉り以上の大兵を派して滿洲を占領、極東の兵備を充實し朝鮮の獨立を脅かさる有樣であつた、ことにおいてわが國は露國に抗議を提出し英米をはじめその他の列國もまたわれにならつてその不信を責め、卅五年一月三十日には英京ロンドンにおいて日英同盟を締結した。かくて露國も幾分か讓歩せざるを得なくなり同年四月八日清國に對し滿洲より撤兵を約しながら却つて清國政府を強要してさらに有利なる條約を締結せんとし遂には鴨綠江沿岸に伐木會社を起し、これが保護を名として朝鮮に進出、龍岩浦を占領するに至つた、この高く不遜なる露國の態度に對しわが朝野の輿論は大いに沸騰、三國干渉以來忍びに忍んだ國論は一時に爆發せんとする狀態であつた。しかしわが政府當局は當時の國情に顧み隱忍自重してあくまで平和裡にことを解決せんと欲したのである。當時の準備と彼我兵力の一端を振返れば、露國の陸軍は歩兵約一千八十五ケ中隊、騎兵約七百ケ大隊を擁し世界第一の陸軍國として列强の脅威となつてゐた、之に對しわが陸軍は十三ケ師團歩兵百六十ケ大隊、騎兵五十四ケ中隊、工兵卅六ケ中隊を擁するのみで之を露國陸軍に比ずれば その十分の一に過ぎなかつた、從つて當時露國と戰つて日本が勝つなどとは外國の夢想だにしなかつたのは勿論、わが國防上においても先づ五分五分の戰ひと見、確かに勝てるとの自信は持してゐなかつた、そこで政府當局は卅六年八月以來露國と折衝を重ね遂にはせめて朝鮮に對してだけでも露國勢力の進入を防がんと欲し忍び得る最大限の讓歩條件を提出した、しかるに露國は言を左右にしてその回答を遷延したばかりか着々極東の兵備を整へた、かくなつては一歩を讓らうとすればするほどわれの不利益になると判明あり、明治三十七年二月六日における第十六回目の交渉を最後として遂に彼我の國交斷絶するに至り、次いで宣戰の大詔は二月十日をもつて渙發せられ、わが國民の感激と敵愾心とはいやが上にも昂まつた

今次大東亞戰爭において米英のとつた態度は日露戰爭直前を彷彿せしめるものがあり今回の國民の憤激もまた同樣である。たゞ日露戰爭においては南進の兵備が整はず露國に比較して兵備の優劣を論ずるまでに至つてゐなかつたが今次大東亞戰爭においては米英の强大なる軍備に對し、皇軍は恐るゝところなき準備をもつて戰つてゐるとは實に力强い限りである。しかも皇軍は今や國家の總力を擧げその雄大巧妙なる作戰を遂行しつゝある。我らはこの時ますます努力を堅くし米英擊滅最後の日まで戰ひ拔き大東亞共榮圏建設の大事業を東亞のため世界人類のため完成せねばならない

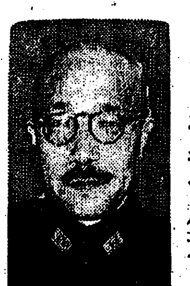
南總督靜養

【東京特電】八日午前七時……の自邸に入つた南總督は二、三の來客に接したほか……を相手に終日靜養した

戰は今後に在り

一意勝利に邁進せよ

東條陸相談



東條陸相兼陸軍大臣は本十日第卅七回陸軍記念日を迎へ左の如き談話をなした

◇……思へば三十七年前の今月、奉天會戰の大勝をもつてよく敵の死命を制し、爾來皇國日本は世界の强國として列强の間に伍をなし、今日の隆昌の基礎を成した しかしながら當時は全く勝敗を度外視して、正義のために國運を賭し、國民一致團結し一丸となり、つひに强敵を屈服せしめたのであつて、吾人はこの輝しき記念日に方り、この偉業を達成し、皇國の安定を確保したる父祖先輩に感謝の赤誠を捧げ、進んで大東亞戰爭の完遂を誓はなければならぬ

◇……今次大東亞戰爭はまた皇國日本の自存自衞上決然起ちたるものにして實に已むに已まれぬ一戰であるが、もと光輝ある傳統を繼承し、日夜不屈の闘魂に溢れ精進せる皇軍は、緒戰において赫々たる戰果を收め、敵の東亞侵略の牙城を相次いで攻略し、さらに南方に進擊しつゝあり、共榮圏建設のため一億國民は一意戰爭完遂に邁進しつゝあり、誠に深甚なる感謝の念を捧げざるを得ないものがある

◇……惟ふに皇國隆替安危の決せらるるは寧ろ今後にあるといふべく、この肇古未曾有の重大時局に際し一億國民が齊しく殉國の心を心として、さらに肇國三千年の歷史を汚さざるやう永劫必勝の獻身奉公の精神に燃え如何なる困苦にも堪へつつ最後の勝利に向つて一路邁進せんことを切望する

決戰體制を補强

以てけふを意義づけよ

南總督談話

南總督

大東亞戰下にけふの陸軍記念日を迎へ感慨自ら切なるものがある

今より卅七年前の本月本日、帝國は奉天會戰において日露戰役中最後の決戰を收め、日本海々戰と共に戰爭の大勢を決し去つたのであつて、それは實に世界戰史上の著名なる史實となつてゐるが、この史實と現下の大東亞戰爭との關聯に大なる意義の存することを見逃してはならない

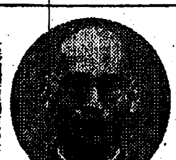
◇……當時東洋の片隅たる島帝國が世界第一級の强國を破つたといふ事實は、歐米人をしてこれ迄の白人による世界支配の夢を……世界の有色人種に對して……歐米人はこれを目して世界歷史の一大轉機なりと評した、……

◇……この記念日に際し大東亞戰爭を一億國民は決戰體制の强化に付內容を充實し……

想ひを往時に馳せ

鐵石の決意更に固めん

倉茂朝鮮軍報道部長談



大東亞戰爭下初の陸軍記念日に當り倉茂朝鮮軍報道部長は左の如く談話を發表した

◇……大東亞戰爭下に第三十七回陸軍記念日を迎ふるに當り……

◇……この一戰によつて世界列强は日本の眞價を知り……

光榮の勳章親授式

事變關係生存陸海將星

【東京電話】既報の通りでは支那事變關係生存將星のうち、昭和十五年四月廿九日附で功二級以上の勳章を賜つた今村均中將以下陸軍將官四十五氏及び海軍大將以下……九日午前十時宮中鳳凰の間において親授式を擧行……

陸軍

功二旭一 中將 今村均 …… （以下將星名列記）

海軍

（將星名列記）

地方實情を檢討

―可能者を當然第一義に―

候補者の推薦方法

阿部會長談

【東京電話】翼贊政治體制協議會は今月二十日頃までに各都道府縣の候補者を推薦……

原泉無煙炭京城出張所新設

情報局各地で時局問題研究會を開催

【東京電話】大東亞戰爭の新段階に……

鮮內の石油配給機構

最少限度に壓縮

支店長會議で決定

石油の配給機構整備につき打合せ……

第一回戰時報國債券 第二回戰時貯蓄債券 大藏省 遞信省 日本勸業銀行 大東亞戰爭必勝 感謝貯蓄 三月一日より三十日 發賣

家庭と祭祀と

獻納の眞精神

コクヨの帳簿 大阪 東京 黑田國光堂

イチバン新しい 中學講義錄 ◎勤勞獨學青少年諸君の喜び ―タッタ一年三月で中―學全科が立派に卒業― 見本進呈 東京豫備學校出版部

ヒスタミン メ手 ビタミンA … ヒフの荒れる 手の荒れる

ライトインキ 天下一品 一家一瓶 十二月八日！あの感激を永久に……

神經痛・喘息に…… イマヅミン

トモエ鉛筆

デルモライツ 感冒に肺炎に 扁桃腺炎に氣管枝炎に 三十分しっぷ藥 デルモライツの濕布は僅か卅分で獨特の生物學的作用により迅速に熱を下げ充血を去り痛みをとると同時に種々の病菌に對する免疫體と抵抗力を作ります 株式會社 藤澤友吉商店

この一戰 何が何でもやり拔くぞ

ラキサトール錠 下劑……習慣性のない自然の通じ……

肌の生氣 肌が荒れて……にきび、そばかす、吹出物がふへる、肌の生氣が失せて容色がくもるなどみんな便秘のためなのです ラキサトール錠は作用が溫和で習慣にならず快く自然の通じをつけるので專ら婦人の常用に適します

良藥と實寶錄 無代進呈 光明丸 顧成閣 丹平商會 脳 脳病神經系諸病

先勳が語るけふ

決死に涌へる勳の陸軍記念日、この日奉天會戰から輝く日清、日露の役に先輩三百余名が今日に至るまで名譽の戰歴を承けて一層に令した人々の武勳を[illegible]今日に再現し、支那事變に參戰せんとする[illegible]が、この榮えある記念日に際して全鮮から續々入城した鬪士たちの勇戰の物語を聽く、大戰の榮ひ出の數々である

瞼に殘る「軍神乃木」 二〇三高地の激戰

大井田軍曹

あの激戰を思出すると全く感慨無量です、彼の有名な二〇三高地の激戰で偶然、乃木將軍の悲壯な決意を聞いて武者震ひした話を致しませう
明治卅七年のやうに二〇三高地占領には第一回、第七師團が全力を擧して攻撃したが、松樹山[illegible]の堡壘[illegible]、第一聯隊で最後に聯隊本部に行きますとお前達を[illegible]

[illegible]を[illegible]しようと受話器を耳に當てた時でした
"わしは乃木ぢやが"といふ聲が耳には入つたのです、聯隊長閣下にかけてをられるのでした、私は一瞬だつて聞き逃すまいとしつかり受話器を耳にくつつけました
『どうあつてもバルチック艦隊が來る前に旅順を陷落させねば自分は腹を切つて申譯をせねばならぬ』
將軍の御聲は今にも私の耳に殘り、を[illegible]付けてをられるやうでした
如何に將軍の決意が悲壯であつたか……二〇三高地の激戰を物語る逸話中の逸話です【寫眞＝大井田軍曹】

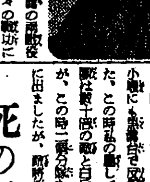
壯絶沙河の會戰

陸軍少佐 板井信藏氏

人會光州支部副會長、退役陸軍少佐板井信藏氏(六二)「私は第四十聯隊の中隊長として(當時卅四歳)沙河會戰に參戰の最中に出征、沙河會戰には勝ちて最中に回顧して奉天をも敵の夜襲で三塊石山を奪取し、中つゝあふ當時のことを回想する
は二月九日渾河を渡過、十日奉天の北方方面で敵の退路を遮斷、兵時も敵に殲滅を與へた、この度の大東亞戰爭が着々と戰果を收めと全く感激に堪へない」【寫眞＝板井氏】

亡き戰友に知らせたい光榮

渡邊軍醫中尉



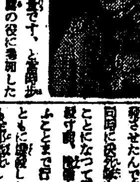
釜山府幸町の渡邊軍醫中尉(?)は明治元年生れで日清、日露の兩戰役に軍醫として出征、幾多の戰功に輝く金鵄勳章を賜はつた老勇士であるが、當時會戰の戰況を語つて語る
「卅七年奉天會戰前日の九日は猛烈な砂塵をあげて敵陣地に向つて吹きまくつてゐた、わしは軍醫中尉として[illegible]わしは當時[illegible]野戰病院勤務だつたね、わしは今から[illegible]光榮のお招きを受けたがな、しかし戰死した戰友に大東亞戰爭の捷報を知らせてやりたいもんだ」

感慨無量だ

手塚貞助軍曹

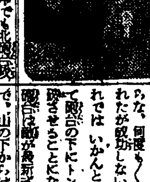
【寫眞＝渡邊軍醫中尉】

明治卅七年一月奉天會戰の際敵に出撃へつゝある者が敵に迫る決死の突撃隊を編成しつゝあつたが、小隊にも突撃命令で突撃を加へて來た、この時私の屬してゐた第八師團は數十倍の敵と白兵戰を演じたが、この時一個分隊を率ゐて兵隊に出ましたが、萬時戰死下四十五名を率ゐる
手塚貞助氏は語つた【寫眞＝手塚貞助氏】



死の爆破行

歩兵上等兵 木山太郎氏



八回も突撃して來たところですが、な、何度も決死隊が編成されたが成功しない、それでは總司令部ではいかんといふことになつて砲台の下にトンネルを掘つて爆破させることになりました、この砲台は敵が最新式だと誇つたもので、山の下からは全然その所在が判らず砲は雨霰のやうに降つて來るのです、この中に決死隊は[illegible]され、遂に三ケ所にトンネルを掘ることに成功しました、その中に爆薬を押し込みねくいとたつて爆發させたんです、ところが爆發と同時に決死隊を出して突入させることになつて第一回の決死隊が爆發時間、爆薬まで持つたとき一大爆音とともに爆發したものだから無念にも全部戰死しました、決死隊の勇士の壯烈な戰死に泣いて手を合はされました、激しくて"だが最後の突撃だ"と隊長は眞ッ先に立つて前進目がけてどつと雪崩れ込むやうに突撃しました、この砲台が奉天會戰でさしもの敵本據を陥つた北砲台も完全に占據することが出來ましたが、今思ひ出しても思はず"萬歳"を叫びますと元氣な木山さんは六十三とも見えぬ元氣さで當時の戰場の面影を語つた【寫眞＝木山太郎氏】

祝第三十七回陸軍記念日

新 皇軍武運長久
[illegible]　後素公

"見てくれ、あの日章旗" 今は亡き部下の英靈に隊長の餞

モールメン攻略戰

【ビルマモールメイン九日同盟】モールメイン占領一歩前で敵彈により壯烈なる戰死を遂げビルマ戰線の華と散つた快速部隊矢野部隊中隊長(東京出身)の戰跡は皇軍の鬪魂の的となり頼みの矢野中隊長と讃へられてゐる、國境突破以來シヤン山系の嶮路をわづか二晝夜半たらずで突破コーカレイ一番乘りをし、その間絶えず敵の前後に出て之を奇襲潰走せしめ、息つく暇もなく前衛となつて敵退路を遮斷し續けてモールメインに突入、かくて友軍の進撃を有利ならしめたのは矢野戰兵中隊の戰跡である

モールメイン攻略の命令が下つてパカから驀馬に鞭打つて北上したのは一月廿七日午後八時であつた、月明皎々として進むには絶好の夜だ、部隊の進撃をして第九四哩標の渡河點であるアタラン河岸のチヤウンナカに達した、河幅約七十米、深さは十米たつぷりある、附近には船一隻もない馬を泳がせようとしたが川の流が二米もあつて不可能だ、隊長は附近に船を探させた、やうやくのことで二、三人乘りの小舟が三隻見付かつて、この二[illegible]で到着まで夜を通らねばならぬ、木を伐り、竹を切りその上に敵を曳いてやつと架橋が終つたが一度に馬を十頭も通すとは出來ない、○○時間かゝつて部隊は對岸に達した、この時突然前方百米の近くで敵の機銃が唸り出した、直ちに攻撃にかゝつた、豆を煎るやうに銃聲は激しくなる、迫撃砲も現れた、ムードンにゐた敵が接近しくも砲撃して來たのだ、友軍の主力は今渡河の最中である、激戰の中でじりじりと前進が始つた、戰鬪約四時間遂に敵は多數の遺棄死體を殘して敗走し始めた、すかさず追撃だ、逃げる敵に追ひつき馬上から斬る攻田曹長は十八人斬り殺した、ムードンは間近に迫つた、浮足立つた敵は死守すべきムードンを棄てゝ逃げる一方、部隊はムードン市街を一氣に突き抜けて阿修羅の如き突進だ、斷然れて一キロばかり進んだ、ペアンに差しかゝるとまた突然敵の機銃が火を吹き出した、何糞とまたも白兵戰だ、敵は四百位ゐる、猛烈で蹴散らし、眠れかゝつた敵を追から斬る、一騎で十數人の敵を斬した、餘りにも無謀な突入に敵兵は[illegible]られトラックを棄てゝ附近のジャングルに蜘蛛の子を散らすやうに敗走する、馬から飛び降りトラックに乘つた、最後の[illegible]らしいトラックだ、さあいよいよ最後の進撃だ、あと七里でモールメインだ、時に廿日の午後五時、モールメインへ時速七十粁を飛ばして最後の追撃戰だ、市街が見えて來た、前面の中に丘が見える、敵の追撃はいよいよ盛んになつて來た、彈雨の中を遮二無二突つ走る、途中の橋が落ちてゐた、よく市街に入つた、突然エンヂンに彈が當つた、車が故障してしまつた、途端に猛射が前後左右に起り、トラックへ集中して來る、隊長は直ちに下車を命じ道路の兩側に伏して攻撃に移つた、しかも四方に敵の[illegible]がある、それが堅固なトーチカから潑剌々々に射つて來るのだ、遂に最後の肉彈戰が始まつた、眞先に起上つた隊長が敵三名を斬り殺した時、ばたりと倒れた、傍に駈けよつた攻田少尉(…)が抱き上げたがすでに息が絶えた、[illegible]「[illegible]頼む」といつて壯烈な最期を遂げた、しかしその[illegible]軍曹はすでに生きてゐない、時山兵長(…)、北川兵長(…)も前線で戰死した、殘つた佐々木兵長(愛媛縣)三木兵長(…)が指揮に當つた、しかし既に二人とも重傷を受けてゐる、大聲を上げ敵に斬り込んだが如何せん、突進むことは出來ず木の上から射つて來る敵に斃れた、この時主力が怒濤の如く押寄せた、殘敵三百を殲滅した、時に廿日午前八時四十五分、モールメイン陷落の一日前だつた、あの日章旗を見てくれ 今隊長はこのモールメイン攻略の華と散つた戰士の英靈を高く翻へる日章旗の見えるところに安置して部下の戰跡を語るのである

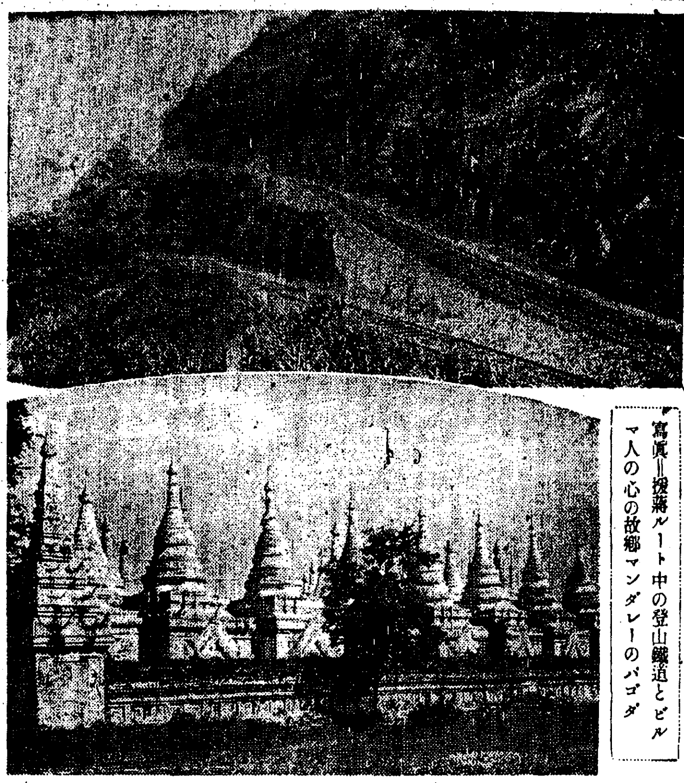
汗の結晶献金

【咸興】[illegible]戰地の威北隊[illegible]工事[illegible]勞働者[illegible]は金八十三圓四十錢を[illegible]國防献金した

烈々說く聖戰史

本社主催 講演と映畫の會
大久保中佐講演

第卅七回陸軍記念日を奉祝して九日午後六時半から府民館に開かれた本社主催"講演と映畫の夕"は京城師團報道部大久保中佐は滿ちた約二千の聽衆を前にして"日露戰爭四十年史"と題し東亞の指導者に對する日本の聖戰史を語つた
東亞新秩序まで日本は努力した、米英は支那を通じて日本を[illegible]八紘一宇の精神の顯現を誤り米英の大精神によつて救はれるものだが、ここでいはれる一視同仁とは無差別といふ意味ではない[illegible]
"半島人はややもすると平等を叫ぶが眞の平等とは秩序の中にこそあるのだ"大人と子供に同じ[illegible]
"人間の價値は體力や學力によるものでなく精神力によるものだが、米英が斯くも無慙な敗北をしたのも實にこの日本人の精神力の差にあつた、今や
われわれはこの日本精神に生きて米英撃滅の聖業を進めてゐるが、これこそ三千年の長い歴史の中に培はれ、日露戰爭以來卅七年の長きに亘つて顯示を[illegible]
わが偉大な戰史の[illegible]と[illegible]である"
[illegible]米英撃滅の[illegible]



寫眞＝援蔣ルート中の登山鐵道とビルマ人の心の故郷マンダレーのパゴダ

息の根絶たれた援蔣路

"住民の喜びさこそ" ラングーン發く京城の洋服屋さん

此の日待つたビルマ人

「落ちましたね、嬉しいのなんのつて家内はさつきから泣いてばかりをります」ラングーンに住むこと廿六年、長期仕込の洋服仕立で京城出身の洋服屋を自任させて唯一人の日本人洋服屋としてビルマ人の間にも[illegible]めてはゐたが支那事變と共に英國官憲の人道を無視した壓迫に憤慨、遂に昭和十五年惜しくも引上げた歴史を捨てて歸つた京城本町二丁目洋服商小田倉一氏(…)は夫人菊子さんと共に九日"ラングーン完全占領"の本社號外を手にしてその感激を語るのだつた【寫眞＝語る小田倉さん】

ランゲーンはビルマ第一の都市だ、この陷落を待つてゐたのは日本人ばかりではなくビルマ人もどんなにこの日を待ちこがれてゐたことであらう「何故早く日本軍の飛行機がやつて來ないのか」とは支那事變以來のビルマ人が日本人に囁く言葉であつたのだが、英國の敵政によつて目を塞がれてゐたビルマ人にはビルマと支那とが地理的に接近してゐるから支那をやつつけるついでにビルマの英人も追ひ拂つてくれるのではないかと簡單に考へてゐたのだ、このビルマ人が日本及び日本人を崇拝するやうになつたのは、同じ東洋人種であるといふことも大きな原因であつたが、それよりももつとビルマ人の關心を集めたのは先年日本がオリムピック[illegible]運動に國を擧げた昭和十年頃[illegible]たとがあつた、その頃ビルマにも相當の間パンフレットが日本領事館や日本人會からビルマ人に頒布されたとがあつたが、この美しい色刷りで紹介された日本各都市の近代化した建物や日本婦人の[illegible]を見てビルマ人はみな感激したのであつた、日本こそ英國より立派な國だと信じさせたのはこの時分からだ

目に餘る英の援蔣行爲

昭和十二年七月七日を境ひとして英の邦人壓迫は急に露骨化した、同時に今まで陰にかくれてゐた援蔣ルートは國際信義を無視して白晝堂々と行はれ始めたのだ、ランゲーンに陸揚げされた援蔣物資は毎日多數の貨車でマンダレーへそれからラシオを越えて雲南へ毎日四噸積の巨大なトラックが休む間もなく走つて行つた、これを見るビルマ在住の日本人の血は鳴つた、ある時には在留邦人全部が死を賭してこれを阻止しようと企てたこともあつた程だつたのだ、現在は先日タルワリーへ移されたと外務省は報じてゐる、この中には昔の大半の日本人は引揚げてしまつたがそれでも殘つてゐる數百の邦人も家族と共に打ち交つてゐるとだが今頃はどんな待遇をうけてゐることか思ふだに涙である、「兄貴頑張れ」と叫んでゐるのはこの頃の毎日の行事となつた

ビルマ人のビルマ建設へ

このタルワリーはビルマ第四の都會でランゲーンから四十二哩西に在る、今から十二年前カセ・サンといふビルマ青年が英政府に反抗して捕はれた地でビルマ人はカセを今でも獨立救ひにしてゐる、この地で邦人が監禁されたのは如何なる理由によるものかわからないが、遂に英國の[illegible]を諷刺してゐるやうにも思へるのであるが、その他かラングーンと共に帝國陸軍が占領したペグーはランゲーンから四十二哩離れた英國軍事基地で市内外には無數の石油タンクや製油工場が存在するランゲーンから三百九十哩の田地續きで丘一つなく敵に有利な[illegible]が一擧に陷るも近い日だらう、このマンダレーこそビルマ人の心の故郷でランゲーンと共にビルマ人のビルマ建設のための中心都市となつてゐる、輝くマンダレーの部落はビルマ人のビルマ建設のための時期を早めるには絶好の機會となるであらう

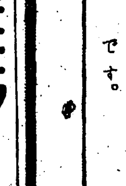
羅南の献金

【羅南】七日羅南憲兵隊へ左の通り國防献金 金九圓十四錢[illegible]部落[illegible]金十一圓[illegible]金山大[illegible]四十七錢[illegible]外七名

京小主催 總督賞綴方 晴れの入選者

國民學校制度實施第一年を記念すると共に、大東亞戰爭下小國民の逞しい意氣を如實に示す綴方の[illegible]小國民新聞が年中三大行事の一つとする第四回總督賞綴方募集は去る一月末日を〆切り、その審査を進めてゐたが、さる三月五日最後の審査會を開いた、總督賞一篇、學務局長賞[illegible]四篇を決定、昭和十六年度學校綴方の最高峰をここに樹立したのである、尚ての應募作品と[illegible]「ラッパの兵隊さん」「しみを拂へて」が兒童の文藝作品として喝采され[illegible]どだが、國民學校制度の實施は綴方教育の新方向を要求しており、今年度の應募作品は大東亞戰爭下の國民學校綴方として、教育界に大きな示唆をあたへよう。入選作品はつぎの通りである

總督賞一篇
「大東亞戰爭の日記から」咸興元山本町公立國民學校五年 堀 信夫



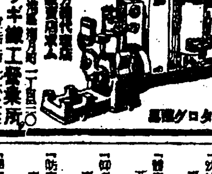
秀賞十四篇(學年別あいうえお順)
「センサウカルタ」京城師範附屬第一國民學校 一年 桑井 雅之
「フナ」京城三坂公立國民學校一年 柚木 貞夫
「なす」全南光州中央國民學校二年 東 光喜
「ねずみ」京城師範附屬第一國民學校 二年 坂井 保之
「なまへ」忠南[illegible]國民學校 三年 川瀬まり子
「双子の赤ちやん」京城三坂公立國民學校三年 藤井 敬子
「防空壕」京城女師附屬國民學校四年 中村 洲
「沈められた病院船」京城師範附屬第一國民學校 四年 松崎 暢子
「體育大會」黄海道安岳安新國民學校 五年 桑林 俊雄
「仰ぎ見る日章旗」京城元町國民學校五年 鈴木 一彦
「防空演習」京城元町國民學校六年 久米 只彦
「學校の入口の路庭」全南麗光北國民學校六年 吉永 小佐
「世界地圖をながめて」全南光州中央國民學校高一年 島山 邦子
「水害の思出」全北全州國民學校高二年 大山 勝玉
佳作百篇は略す

板間稼ぎ

[illegible]は京城永登町[illegible]じめ浴場を荒し[illegible]本町署に逮捕された、被害額一萬五千圓

健康を把握せよ
ビタミンB複合體 高い榮養力錠
錠 メイビタ
明治製菓株式會社

カタギ式 木炭瓦斯發生機



大阪市[illegible] カタギ鐵工營業所 電話西七六二三

春時種子
いろいろ豊富に取揃へ御用命を御待ちしてゐます
朝鮮タキイ種苗株式會社 京城府[illegible]

◎當座小切手紛失ニ付失權公告
一、第一銀行京城支店小切手一通
金額 四千圓也 日附 昭和十七年三月九日
番號 GW五七一六 振出人 西田石炭商店
支配人 植田知[illegible]
右昭和十七年三月九日紛失ニ付此段公告候也
昭和十七年三月十日 豐田 清

製樽機械 木工機械 帯鋸・丸鋸 砥石 鍍
沖商店 大阪市[illegible] 電話[illegible]

最後の一滴まで使ひませう
セーラーダイヤインキ

中野高等無線電信學校
校長 沖 貞男
東京市中野區[illegible]

●頭痛にはやつぱりノーシンが一番だ●

肺病 ろくまく 心配は無用なり
療法の秘訣四十ケ條
大阪市[illegible] 岡本清明

ケイコーミシン
京城ミシン株式會社

縄筵 配給所 大谷商店

債權申出催告

易學の大家 精龍師來る！
御成町集會所に於て 本日より向五日間
運命鑑定 精龍師

KBKアフター シエービングクレーム
紳士用、髭剃後専用のクレームです。
品質を鐘紡誇る化粧品
朝鮮總發賣元 京城明治町 新井藥房 製造元 東京鐘紡藥化學研究所

京城寶塚劇場
輝く第卅七回陸軍記念日を祝して有料試寫會！
泣きながら見た試寫！
陸軍省 文部省 推薦の最高の傑作！
演出 田口哲
空前絶後の戰爭映畫！
團體御觀覧はお早く申込み下さい 電(2)七〇七三番

興亞化學工業會社製
アマツリクリーム

京城電氣學校教員中島克己儀かねて病氣療養中の處養生不相叶本三月八日午後九時永眠致候間茲に生前中の御厚誼を深謝致し此段御通知申上候
追而葬儀告別式は明十日午後一時より二時まで[illegible]
昭和十七年三月九日 京城府[illegible]
嗣子 中島克昭
親戚代表 文木[illegible]

京城版

（卒）（業）（式）

京城女子商業　京城女子商業學校では第十四回卒業式を十一日午前十時から擧行する

金屬類の回收で身代り御奉公

千田總務部長　府民の協力を要望

大東亞戰爭の完遂は先づ家庭にある一點の金屬回收から始まるのだ埋もれた家庭の鑛脈を掘り出すことこそ銃後の緊急な務めである―と目下繰展げられてゐる一般家庭金屬類特別回收運動は銃後府民の自覺と相俟つて今や熾烈化しつゝあるが、千田京城府總務部長は百萬府民へ金屬類回收に積極的協力を要望して次の如く語つた

大東亞戰爭の赫々たる戰果に伴ひ高度國防國家の建設下日本經濟の確立は我國にだけ金屬回收用品の使用普及に心掛けねばならぬとは今更多言を要しないと存じます。今回戰爭資源の中樞である……を確保し以て國家緊急のお役に立てるといふ意味合の下に二月一日より一般家庭金屬類特別回收運動を實施致すことと相成りましたとは府民各位既に御承知のことと存じます、今回の特別回收は鐵、銅製品の死藏物は勿論、現に日々活用されつゝあるものに付ても徹底的に回收しようといふのでありまして、强制回收の規定は適用されないのではありますが、一般家庭に御婦人方の自覺に訴へ假令一時の不便や代用品購入の困難はあるにしても斷じてわれ等の生活をお國のために役立てようといふ精神で喜んで供出して戴きたいのであります。ガソリンが血の一滴であるならば鐵、銅は正に骨であり肉であると申すことが出來ませう、今日は最早議論の時代ではありません、簡素平淡準あるのみです。お國に捧げる生活の實踐これこそ現下國民一億の生活目標でなければならないと信じます、回收物件の供出方法その他に就ては既に町總聯盟理事長を通じて夫々回收物をお屆けしてありますから明日から開かれます常會に充分沖縮打合せられ假令小さなものでも之を供出し本運動の目的達成に府民各位の積極的御協力を切望して止まない次第であります

けふ〝陸軍記念日〟

府民館で『記念講演と映畫會』

大東亞戰爭下に迎へた初の第三十七回陸軍記念日の十日大京城は勝つて鷲國旗に塗りつぶされるが、この日京城府、同聯盟、軍人後援會京城府分會共同主催で午後七時から府民館で記念講演と映畫會が催される

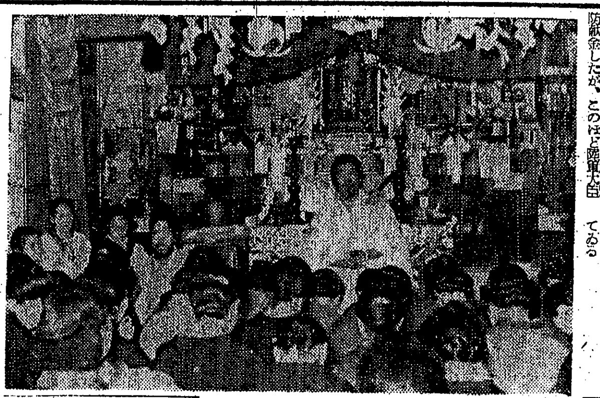
講師は森五六陸軍少將で「大東……」

愛國の烈女　金澤學蘭さん

京城町會でも表彰

……町八四ノ一四、金澤學蘭女史（…）は事變に際して銃後や町内から寄せられた感謝の寄附金を國防獻金したが、このほど陸軍大臣から感謝狀が屆いた

同女史は若くして寡婦となり勤儉、赤貧と鬪ひながら子女を教育し去る昭和九年皇太子殿下御誕生の佳日烈女として當局から表彰された婦人であるが、更に老いてなほ烈々たる愛國心に同町會愛國班では近く表彰することゝなり寄り〳〵準備を進めてゐる



合格おめでたう

京城女子技藝

【本科一年】大原敏子、金川吉子、大野佳順、井上美喜子、齋藤幸子、小原順子、枝尚明子、矢作あい、朴勝鳳、井原花子、小倉昌子、原口美代、松山玉麗、橋本睦子、齊藤重子、富田久子、武田良子、金山芳子、藤枝幸子、福井美奈子、矢野和子、徳原道、松田康子、香川昌子、宮本幸子、古賀幸子、西本明子、松浦幸子、下時節枝、園城寺節子、城森順子、吉田小富子、藤井美登子、豊村宗子、助村峰子、金光和子、森岡順子、小森スギ子、平山和順、朝倉幸子、白瀧和代子、柴田惠津子、青山玉子、金森福子、田村久子、松岡明子、宮本竹子、田井靜子、西木ミサ子、堀内良、松尾カズエ、山原哲子、本多節子、川上喜子、森田節子、福田美喜枝、江川仁淑、伊原知江、永松政子、横枕キヨ子、瀧岡芳枝、小川幸江、駒里瀧子、田尾妙子、黒瀬久代、和田千代子、田尾妙子、徳原芳子、木原東淑、茂谷川多喜子、槇山淳子、武池芳子、山本芳子、明代文子、落合和子、大徳仁順、中田允子、……子、池村正子、松田幸子、今泉小夜子、山田智恵子、杉本正江、横山恵順、大山君子、……子、吉林清子、細川千代子、前田千伊勢日出子、村山喜代子、平康正子、中崎清子、岩瀬和子、三元淑子、國安美弥子、中瀬ナカ子、……シズ子、近藤美智子、中村節子、佐藤幸子、前田喜代、木佐貫妙子、……順子、村田千代子、江上千鶴子、……節子、……子、山城順子、平口典子、碧山信子、原京子、岡本貞淑、奥田安子、檜山君子、日照二保子、松田蓉、小森蓉、福永テル、木戸曹子、谷美代子、武部美知子、小西順江、井手喜代子、深堀英子、山下アサ子、久保田安子、松田八重子、岡田文子、近藤才子、岩崎恵美子、指吸和子、金海順龍、……子、金浦淑珠、飯田君子、徳田節子、梅原ルリ子、稲本良子、柴田るり子、共田照代、武内節子、山下恵美子、良合房子、吉村富子、大泉政子、中十京子、新本貞子、伊藤千歳、星野幸子、稲木繁子、吉原フクエ、松浦照子、辰野美代子、鳴海節子、久保節子、兎多恵子、田淵靖江、安ゐ明子、山内昭子、今本良子、吉田久子、山本咲子、木村富美子、江草小籌枝、牛島節子、【本科二年】相澤惠子、佐藤照子、城山昭子、牧本睦子

殉國勇士の靈前で讀經奉仕

西本願寺朝鮮別院の全僧侶

……輝く勲業のうちに迎へる第卅七回陸軍記念日の十日、京城若草町西本願寺朝鮮別院では全僧侶が手分けして殉國勇士の自宅を訪

全山に冴する南無妙法蓮華經

出征勇士の『武運長久祈願祭』

勝つて兜の……銃後の感激をその際に府内西四軒町聯盟主催『皇國隆昌大祈願會』並に西四軒町及び新町出身出征勇士『武運長久祈願祭』は八日午後一時から西四軒町總士寺で擧行、會員百名出席、名古屋無代寺住職のとち住職指田義應師の正中山大荒行堂における百日間の荒行終了で嚴肅な武運長久祈願法要が執行され〝南無妙法蓮華經……〟の聲は全山にこだまして盛況を極め同三時半終了した【寫眞＝西四軒町武運長久祈願祭】

城東署の六警官表彰

本年一月城東署の新設前、聯前に新築し記念造型を濟み寄附する

によつて東大門警防團の組織者へが行はれた際各管内の各警防團の指導に對して優良な成績を擧げた次の六警官が九日東大門署長から並一封と共に表彰された

岡崎重作部長（崇仁）野中忠夫部長（敦岩）久保光友部長（龍頭）高倉勝一部長（清涼里）有田徳馬巡査（徽慶）藤野丙吉巡査（新設）

商業道徳を守れ

街の慰問袋

この節なればこそ商業道徳を守るべきなのに昔の夢を忘れかねた小商人根性が營のそこ此處に根を張つてゐるのはイカンです。赤ン坊可愛いさに一枚の配給切符を後生大事と手にしてミルク買ひに行つた人がありました。ドライミルク四罐を不承無精出した店の主人は代金を受取ると大きなミルク罐を取引台にのせた儘知らぬ顔の半兵衛です、持つにも提げるにも手の下しやうのない品物を前にお客は仕方なの態です

「包裝して提げるやうにして呉れませんか」「出來ませんね、配給になつたんだからお客さんで適當にお持ち歸り下さい」

木で鼻をくゝつた挨拶に客はヨツ赤になり遂に双方共喧嘩です、話を聞いた警察では不都合なこの藥局の主人を呼び出して嚴重説諭しました

子寶愛國班にまたも產聲

金華山麓に擧る凱歌

金華山麓敦義町の十三班愛國班の子寶部隊は世間の注目を惹きな……

商店街燈火管制競技會

鍾路署管内でも實施

決戰下鍾路署防護團では、管内商店街の防空の備へを再檢討するため燈火管制、實施の協力を得て、十日から十六日まで商店街燈火管制競技會を行ふことになつたが、これは單に商店街に限らず一般警防團員にも參觀せしめ會管内の住民をして要領を習得せしめ燈火管制の完璧を期するもので各警防團役以下班員はその状況を次の日割に依つて見學するやう希望してゐる

十日	自午後七時至午後九時	第一分團鍾路三丁目／內各愛國班	第一分團管內商店街
十一日	同	第二同	第二同
十二日	同	第三同	第三同
十三日	同	第四同	第四同
十四日	同	第五同	第五同

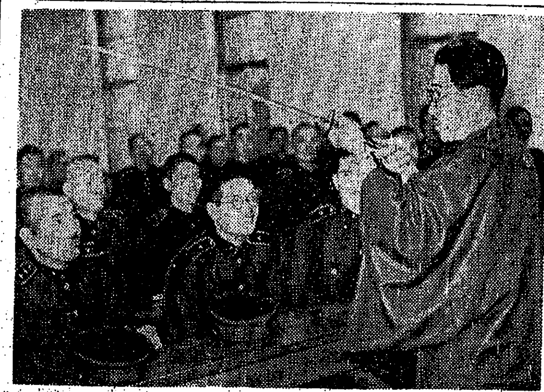
正視せよ〝神の賜物〟

東大門署で日本刀の講義

「文化映畫ニュース」その他を上映する

日本刀を誤つてみてはいけない日本刀こそ神の賜物だ……上府千里町七〇一奥村直一氏は現在京城刀劍會の幹部として働てから日本刀の持つ崇高な精神力について機會ある毎に人に語つてゐたが、九日午後一時から東大門警察署で日本刀の講演を行つた

署員二百名は奥村氏の一言一句を熱心に聽取つて改めて日本刀に對する認識を深めたが奥村氏の說く五家傳のいはれから新古刀の區別を科學的に解釋した話、更に物心兩面から觀た日本刀の尊嚴、或は取扱ひについての心得べき作法に至るまで懇切に指導し同午後四時多大の感銘を與へて終了した【寫眞＝日本刀の講義をする奥村氏】



……が育成されてゐるが、この子寶部隊にまたも喜ばしい產聲が響いた、同町一〇四松原重次郎氏方では去る七日目出度くも丸々と太つた男の子を分娩して未來の志願兵への頼もしい凱歌を擧げた

金屬特別回收運動に拍車

三聯盟で連絡協議會

家庭の鑛脈を掘出せと愈よ盛んになつてゐる金屬特別回收運動に一段と拍車をかけるため朝鮮、京畿、京城の三聯盟の聯絡協議會は九日午前十一時から府民館で開催したが金屬回收運動のほか屑鐵地利用についても協議した

專賣局印刷工場青年隊

十二日結成式

大和町專賣局印刷工場では青年團の改組に伴ひ青年隊を組織し、時局下産業人の鍛成に乘出すこととなり來る十二日午前十時から大和町工場で結成式を擧行する

軍愛國部へ國防器材費

朝鮮演劇協會から獻納

京城太平通二ノ九朝鮮演劇協會では銃後の赤誠を披瀝して高射機關銃一基を獻納することになり九日代表者岸本龍氏ほか協會員九名が軍愛國部を訪れ國防器材費として二千二百六十三圓五十錢を獻納した

慰問袋を寄託

竹添町々會の愛國班員が慰問袋二百餘個を九日同町會事務所へ持ち寄り「我々のために第一線將兵に送つて下さい」と寄託した

阿峴第二區町會でも

阿峴第二區町會の愛國班員は「第一線の皇軍將兵に送つて下さい」と慰問袋六十九個を同町會事務所へ寄託させた

金峯鍾文氏母堂

城東警察署巡査金峯鍾文氏母堂英培さんは七日午前十一時自宅昌信町四六三で逝去した、享年五十一、葬儀は十一日午前十一時から自宅で執行する

ラヂオ　十日（火）

朝　六・〇〇ニュース▲六・四〇近世東亞帝國史（六）……▲七・三〇國民の誓▲……2時吹奏『法華門警作』ほか佐々木幸吉▲八・〇〇（城）1ラッパ『御陵威の光』ほか……雄ほか2、吹奏樂『我等の軍隊』……日本放送吹奏樂團▲九・〇〇陸軍記念日に際して……十肥原賢二▲一〇・〇〇「シンガポール」……小川一郎外▲一〇・三〇（城）『都市の森林公園と公園』……田岡秀夫……▲一一・〇〇音樂と對話「日本よい國」東京市竹町國民學校兒童外

晝　正午合唱▲一・〇〇……上田アナウンサー▲一・二〇生活のうた……國士▲四・〇〇戰時國民……▲六・〇〇少國民シンブン▲七・二〇（城）……

夜　……「十億の陸軍記念日」三周年……▲七・四〇（城）軍歌編曲「日本陸軍」京城放送合唱團▲一〇・〇〇（城）戰勝……陸軍記念日に際し……アナウンサー

第二　【夜の部】六・三〇コドモの新聞……軍歌物語……▲七・一〇……日露戰役……▲七・四〇……『日本陸軍』……▲八・三〇……▲九・二〇……

愛の赤道【28】

竹田敏彥（作）　都竹伸一（繪）

サンパギタの花（七）

ところが、その、シカラクと、シカパイの間にパンダガンと呼ぶ男の子があつた。大へんな力自慢で、これがまたカブタンの神の威勢を恐れず、しきりに反抗ふやうなことばかりする。そこでカブタンの神は、再びお怒りになり、懲罰の光線で、懲らしめのために、パンダガンを射たのである。しかしカブタンの神も、以前の悲しみに懲りてゐたので今度はごく弱い光りを放つた。そのためパンダガンの命は助かつて二十日目に蘇生はしたが、その身體は眞黑に焦げて、その子孫は今も同色が黑く、稱して黑人と呼ばれてゐる。

しかし同じパンダガンの子でも長男アリオンだけは父がカブタンの神の怒りに觸れる前に生れたためこの子だけは皮膚にも何の變化もなく、その子孫は白人として世に殘つてゐる。

雨に送られたリボンとザマンという兄弟は陽にやけて褐色になりサマンの息子達は遠い東の國に逃られたが、そこは大へん土地が痩せてゐたので、一日中、黃色い土を掘してやつと生活をつづけてゐる。

落日を身に受けて、黑色の皮膚を嘆へ、わけて黃色人種の悲劇に至つては、遠く東方の國さへ流れたとある以上、勿論、祖父なるパンダガンの叛逆の罪の報いに相違なく、しかも、その土地は瘦せ枯れて黃色く、そのため日常の生活にも困つて顏から身體まで黃色くなつた――

いかに荒唐無稽な神話にしろ、かうも、我が日本民族を侮辱して白人ひとり優れたりと說くやうなこんな陰險な物語りを自國の兒童に敎へていゝだらうか。

いや、それぱかりではない。しかもこの物語は、孫が祖父に背き會孫が曾祖父に反向ひ祖父、曾祖父はまた怒つて、これを殺傷する。

噫々醜い鬪爭の神代から、美しき忠孝の大道に導かれた我が帝國兒童に、かゝる不倫不德の話を、敎へていいものだらうか。さらぬだに、異郷の二世達は、淺識無比の伊勢大廟を知らず、天皇陛下はします宮城を拜する術もなく、眼に觸くは歐米流の物質文化のみであつて、祖國日本の精神にも神聖にも直接するに由がないのだ。二世敎育の重大性は實にここにあるに拘らず、かゝる敎育なかゝる傳說によつて、自から我が民族を辱しめ、天祖皇國の神意に背き悖る、顯田敎に留心を凝らすが如きは、斷じて默許し得ないところである。

大樋三郎は、この意欲のもとに自ら此の……

さつと、これが出事實の概說記なのである。勿論、見方次第では何の他愛もない。一篇のお伽話に過ぎない。だから讀者はこれもまたフイリッピン文化の一斷片としてこの書に編み込んだものであらう。

しかし大樋三郎には一つの意見があつた。

「これは決して、昔からフイリッピンに傳はつた神話ではない。必ず先頭者スペイン人あたりが當時の住民の蒙昧に乘じて、さも昔からの傳說の如く敷いて、語り傳へたものに相違ない」

三郎は、かう言ふのである。その理由はその物語には、巧に人種の區別を織り込んで、無智な土着の住民の頭へ白人の優越性を刻み込まうとする肝心の謀略然たるものがある。即ち白人ひとりが高貴な父の子として白い皮膚をして、世界の中央を庇し、黑人は、そこに交りながら神に背きし父の罪の子孫……るうちに、皮膚の色も黃色くなつて黃色い人種となつた。

かうして、世界が出來、いろいろな人種ができたのだと、昔から傳へられてゐる。

ぺオの日本人新聞に掲げたのである。これが問題の種を撒いたのである。……りでなく、この所信を堂々、ダ……黨を排除して兒童に敎へないばか……

商業登記公告

（以下、登記公告多數）

強い子は　健全な胃腸から　わかもと　育ち　一日三錢

パリモア－チック

聖戰下銃後報國は　强力ハーモニカバンドから！　學校・會社・工場・家庭に　紅屋樂器店　大阪市南區日本橋筋四丁目五日　（カタログ進呈）

傷ひびしもやけ　ゆひこぐすり　瓦町　あかぎれ　ひょうそ　きり傷　つき傷　やけど　凍傷　水虫　……本舗　中井一馬商店

瓦斯熔接器　專門製作　根津工業株式會社　大阪市西區江戸堀南通二丁目

日富満士號　トウ鋸刃　品質優秀・耐力絶大・手挽用　機械用・富士刃ニツ　八木機械工具合名會社　大阪市西區

各種製材木工機械專門製作　調帶鋸工具類製材用品　細田商事合資會社　大阪市西區松島町二丁目

汽機　汽罐附屬機械工具品　煖房、給水用品　バルブ　コツク　ポンプ継手　扇印※印　藤花印　ラヂエーターバルブ　安藤商會　大阪市西區本田三番町　電話西二六八三・二五四

日本一の燃料が七割節約出來ます　アサヒコンロ　釜山大橋通　旭工業商會

らい病　ヒドノコール

第五回決算公告（昭和十七年二月末日現在）　鯨水鑛山株式會社

花柳病專門　恒松醫院
寫眞機と機械材料販賣
カメラ　內田寫眞機店
古着
貸衣裳
ミシン特約店
看護
白內科
安田產婦人科　醫學博士　安田實
內科　醫學博士　金承鉉
外科　皮膚科
荷造作業　朝鮮運搬組
會社設立、決算、整理、經營計理、タイプ印書引受　甲斐計理士事務所
朝日性病科
犬猫の病院
東光堂
好生醫院
生徒募集
齒科　クロダ齒科
京日案內
臨時事務員募集　金千代會館
女子社員募集
三中井工場
高級紳士服職工　電本四〇四〇番
求賣工場又は貸工場
至急買入度し　製造機械
朝鮮織物株式會社
看護婦採用
貸家を求む　三井物產庶務課
特別案內
職人　配達　會計　賄婦　求職　電話　被服　賣家　賣地　住宅　醫院　寫眞　貸家　古本

浪花館　京劇　城寶　和信映畫館　明治座　東寶若草劇　城南劇場　第一劇場
中央劇場　喜樂館　宮花劇場　朝日座　東洋劇場　桃花劇場　新富座　大陸劇場

夕刊 京城日報

時計の修理は 田中時計店 京城本町二丁目

ラングーンを完全占領

援蔣據點に感激の日章旗

ビルマ方面作戰の主目的達成

大本營發表(九日午前十一時十五分)ビルマ方面帝國陸軍部隊はペグーおよびラングーン附近において敵軍主力を撃滅し、七日午後ペグーを八日午前十時ラングーンを完全に占領せり

(註)ビルマ方面陸軍部隊は一月十日マルタバンを占領後、わが企圖を秘匿しつゝ所在の敵を撃碎して果敢なる進擊を續行し二月十六日乃至十九日に至る間ビリン河畔において執拗なる抵抗を續けし一師團强の敵を擊破し、さらに急追してシッタン河以東の地區にこれを捕捉殲滅し、三月二日夜以降逐次シッタン河を敵前渡河し三月三日夜よりラングーン攻略戰を開始せるものにして、ラングーン攻略によりこゝにビルマ方面作戰の主目的を達成するに至れり【號外再錄】

【ビルマ戰線〇〇九日同盟至急報】ペグーおよびラウガ方面よりラングーンを攻撃中のわが軍精鋭部隊は八日午前敵都ラングーン市に突入、同日午前十時これを完全に占領した

蘭貢中心街を望む

ビルマ方面最高指揮官 飯田祥二郎中將と發表

大本營發表(九日午前十一時二十分)ビルマ方面陸軍最高指揮官は陸軍中將飯田祥二郎なり【號外再錄】

飯田中將

飯田中將略歷

【東京電話】飯田祥二郎中將は山口縣の產、陸士第二十[illegible]期、大正四年陸大を卒業、八年[illegible]、九年[illegible]、十一年[illegible]、昭和[illegible]、十二年の支那事變勃發に際しては杉山陸相、板垣陸相の下に兵務局長として約一ヶ年中央部の樞機に參畫し、十三年現地第一線の部隊に補せられて出征、その後近衞師團長[illegible]として赫々たる偉勳を樹てた、十[illegible]年[illegible]一驍將である

周邊の全飛行場を確保

【〇〇基地九日同盟】ラングーンの陷落とともにビルマの制空權は今や完全にわが手中に歸した、すなはち敵はラングーン周邊にミンガラドン、レグ、[illegible]飛行場(ラングーン北方十五キロ)北飛行場の四飛行場を設置し[illegible]近代空軍の[illegible]としてゐたもので[illegible]完全に空中よりの援護より敵を悩ませる點において[illegible]の誇りとせるものであつたが、度重なる爆撃により、これら飛行場とも潰走し、機能は完全なきまでに破壊せられ、使用不能となつてゐたところ、八日地上部隊のラングーン突入とともに直ちに占領せられ友軍機が早くも續々と飛來、有力なるわが飛行基地となつてゐる

撃沈九十八隻 一月以降獨潛艦の戰果

【ベルリン七日同盟】デーエヌベー通信の報道によれば獨逸潜水艦隊は本年一月以降米國および中南米沿岸において撃沈せる商船總計は九十八隻、六十六萬二千五百トンにのぼりこのうち五十六隻は油槽船でその總トン數は三十五萬五千五百トンになつてゐる、しかも撃沈油槽船の大部分は米國の自國消費の石油輸送に從事せるものであるからこれら油槽船の喪失は米國に頗る大打撃を來すものとみられてゐる

シッタン河 無血渡河

【シッタン河畔にて九日同盟】[illegible]

少年砲兵制(本年から實施)

【東京電話】陸軍では今回少年砲兵制度を設けることとなり本年から實施する。すでに航空、通信、戰車の各兵科に少年兵制度が採用され、これら少年兵は支那事變および今次大東亞戰に赫々たる武勳を樹てつゝあるが、砲兵においても一層必中の精鋭を今後一層發揮せしめるため、少年の時代からそれぞれ[illegible]するものである。その特技分は

一、[illegible]

二、[illegible]

三、[illegible]

四、[illegible]

五、[illegible]

密林中を大迂回 ラングーン占領まで

【ビルマ戰線〇〇九日同盟】敵都ラングーンは八日午前十時遂に皇軍の占領するところとなつたがラングーン急襲部隊は先月末シッタン河を渡河後パヤジ北方においてラングーン、マンダレー鐵路を遮斷してのち同鐵路西方山地帶に入り企圖を秘しつゝ密林中の大迂回行軍を行ひレグ附近よりラングーン北方に突如その姿を現はしたもので附近の敵陣を一擧に突破してのち七日午後九時を期してラングーン總攻擊の火蓋を切つたのであつた、同部隊は左右の兩翼隊に分れ右翼隊はラングーン北方一八〇高地より行動を開始しミンガラドン附近の敵陣を急襲、瞬時にしてこれを占領、直ちにビクトリヤ湖西方地區に進出、一部をもつてラングーン[illegible]の左側背を確保する態勢をとつた

一方左翼部隊は同時刻エトウシヤンズ附近より攻擊前進を行ひ、まづミンガラドン敵陣の左背後を衝き一擧にビクトリヤ湖西側に進出するに成功、ミンガラドン兵舍および同飛行場を急襲し狼狽する敵を急追八日早朝遂に目指すラングーン市街一角に突入輝くラングーン一番乗りに成功、援蔣ルートの據點として支那事變五ケ年間わが國民の腦裏を離れなかつたラングーン驛屋上に感激の日章旗を打立てたのである

ペグー市占領

【ビルマ戰線〇〇九日同盟】六日早朝を期してラングーン防衞の[illegible]ペグーに總攻擊を開始した皇軍部隊は六日午後ペグー西方二キロの地點に達し、同日夕刻ペグー西南チノマジンを占領、[illegible]攻擊の火蓋を切つたわが部隊は東北、西北兩方面より敵陣地に[illegible]するとともに一部をもつて西南部の敵陣に迫り七日午後七時つひにペグー市西部に突入、目下市內の殘敵に對し掃蕩中である【ペグー號外にて九日同盟】

敵船五十二隻擊沈破 帝國海軍の週間戰果

大本營發表(九日午後零時十分)ジャバ島攻略作戰に行動中の帝國海軍部隊は三月一日より三月八日にわたりジャバ島周邊海上ならびに印度洋に脱出または救援企圖中の敵船五十二隻約二十一萬トンを擊沈破し、そのほとんど全部を覆滅せり

海鷲、眞珠灣を奇襲

敵海軍工廠に命中彈

重要箇所を完全に爆碎

大本營發表(九日午前十時五十分)帝國海軍航空部隊は三月四日夜半ハワイ眞珠港を奇襲し、同港復舊工事に狂奔中の敵海軍工廠に數トンの命中彈を浴びせその重要箇所を爆碎せり、わが方敵の照射砲擊を受けたるも被害なし

又もホノルルに空襲警報

ブエノスアイレス特電【八日發】去る四日夜半大東亞戰爭勃發以來第二回目の空襲をうけたハワイのホノルルでは七日朝またもや凡そ一時間に亘つて空襲警報が發せられた

蘭印敗るに暗澹 英、ジャバ失陷を確認

【リスボン八日同盟】ロンドン來電によれば[illegible]八日午後十時の放送でジャバの戰鬪はすでに終了したとの正式發表を待つまでもなく一般に同島の失陷をみとめるとともに、そのジャバ[illegible]

ジャバ島の戰鬪は蘭印の敗北に歸したが、他の地區スマトラ、ボルネオ、セレベスおよびチモールでは抗戰が續けられてゐる

一方デーリー・エキスプレス紙は八日の紙上ジャバの失陷に關聯して[illegible]

全米、憂鬱のどん底

【リスボン七日同盟】日本軍ジャバ完全制壓近しとの報道は米國に重大な打撃を與へ、全米は憂鬱のどん底に[illegible]

完敗を告ぐる電波

哀れ、蘭印放送局から訣別放送

ブエノスアイレス特電【七日發】去る五日首都バタビヤを棄つた蘭印軍はバンドンに立籠り飽くまで抵抗の態度を示したが[illegible]サンフランシスコ放送によれば、蘭印放送局は七日午後九時十五分(日本時間)ニュース放送に代つて突如『愈よ最後の時が來ました、我放送局もこの放送を以て永遠に皆樣とお別れします、左樣なら、ウイルヘルミナ女王の多幸を祈る』と悲痛な訣別の言葉でプツンと切れてしまつた[illegible]その後の消息は全く不明となつたが[illegible]

では米國および聯合國側に新たな[illegible]

では オランダ亡命政府でも蘭印軍はバタアン半島の米比軍の如く籠城作戰を遂行し得る望みは全くなくなつたと認め[illegible]蘭印軍は最早これに太刀打出來ない、バンドン東方三百キロのマクランとスラバヤ南方百十キロのメランが殘るのみで假令この二要衝に頼るとしてもこれが日本軍の猛攻の前には抗戰繼續は不可能であらうと、ジャバ島の戰鬪において蘭印空軍に空から援助してゐたアメリカ爆擊隊の全部も既にオーストラリヤの某地に後退したと言はれる

倫敦、蘭印間の海底電信杜絶

【リスボン八日同盟】ロイター[illegible]ロンドン[illegible]

これからだ出せ一億の底力!

重慶軍に求援

【ベルリン八日同盟】デーエヌベー通信の入手した情報によればビリン河の渡河に成功した日本軍は[illegible]

【ベルン(スイス)八日同盟】ユーピー[illegible]

蘭貢鐵道を完全遮斷

【ビルマ戰線〇〇九日同盟】[illegible]

蘭貢市內治安逐次回復

【〇〇基地八日發特電】[illegible]

蒙疆民間視察團寄城

[illegible]

=人=

◇[illegible]

時の錄音

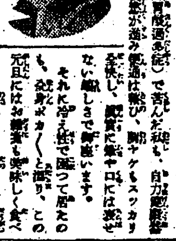
[illegible]

模型飛行機 國民學校教材 ★滑空機 ★飛行機 理科模型社 特約店募集

健康へ 逞しい

胃腸病快通療法(秘便) 古便は敵だ 一風變つた快効 無代進呈 ムサシ ヨーソ むさし製藥本舖

見よこの通り! 胃腸と健康 自力健康器 八ケ國專賣特許 食慾は進み弱い身體が丈夫に 冷え性がポカポカ温まり 便通は整ひ胃酸過多症も全快



援蔣より援英
—抑へられた據點ラングーン—
三井物産坂東康夫氏 一見聞を語る

全ビルマを制する、世界の新しい歴史は日本の着々たる勝利によつて決定されてゆく……米英の重要な據點を次々に獲つて又も大きくビルマ首都ラングーン占領の輝く勝利の發表が九日世界に發表された……援蔣ルートの最重要據點ラングーンは陥ちた。ラングーンは陥ちた、この悦びこそ又新しい歴史に始められてゆくビルマ全民衆の悦びでもあるのだ、九日この輝く勝報をまへに昭和九年から十二年までラングーン出張所に在つた三井物産京城支店坂東康夫氏にはラングーン失陥に對する英國の狼狽を語る

ラングーンはビルマ最大の輸出港で英國の勝手としては最重要な據點における輸出港の先端といふ點で最も大きい、第一は糖も油も獲れ援蔣ルートの完全な遮斷だ、第四國際でこれを見てゆけばおもしろいことに陸上交通にのみ依存してゐた印度は、ビルマ印度間を海路を結ぶ陸上ルートにおいて見るべきものがないことです。あの廣大な土地と三億五千萬人口を有する印度が自外にも貿易で自給自足出來なかつたことで印度人が主食とする米の大半は殆どビルマから仰いでゐたことだ…米の輸出は印度のみならず英國にとつても正に喉元に匕首を突き付けられたも同じです。チヤーチルや蔣介のため叡良な印度人とその氣の毒です。そのほか鉛、チーク材、石油など英本國の利用出來つてをつたやうですがこれも遮斷されたわけで チヤーチルの泣き顔が目に浮かびますね、援蔣ルートとしての價値もここにあつたわけですが、これを占領されたら

全身 不屈でどこに新しい…を開くや、さかこれまた中物

写眞=語る坂東康夫氏

といへませう 大體ビルマ人は同じ南方人に較べて政治方面に適して相當關心を持つた國民で自治運動など相在勤中であつた、彼らが恐らくこの絶好の機會をにがすはずはないと思ふ。なぜつて經濟的にいつてもビルマは英國に依存する必要がないことはビルマ人が一番よく知つてゐるのだから、気質においても日本人によく似たビルマ人が英のきづなを斷つて彼らの宿願を達成するため日本に協力して來る姿が見えるやうです、とにかくビルマ人のビルマはこのラングーン占領によつて生れたといつていゝのではないでせうか……その點でラングーンの失陥は反樞軸國家群にとつて絶對的な痛手で、日本にとつては〃英國の心臟〃印度に匕首を突きさしたやうなものでこんな痛快なことがありませうか

一國 のラングーンでなく英國の東洋政策を支へる動脈部であり、ラングーンはいよいよこれで打斷英帝國の最期となつた譯です

卅八年前・擧國火の玉
繰り展ぐ多彩な行事

あす陸軍記念日

皇軍の赫々たる戰果に裏付けられて全東亞が燃え上る朝気の中に迎へる十日の第卅七回陸軍記念日はいよいよあすに迫つた。この日京城は第一線の兵士に劣らぬ、卅八年前のおほいなる日に偲びを新たにし銃後の行事は國を擧つて繰展げられるが、京城では一日早くも幕を開けられた軍人援護會主催の『軍人遺家族慰安會』を皮切りに街は戰勝祈願や新報や、はては學生の分列式に至るまで參加者のラジオ放送……等々行事一色に塗りつぶされ全府民に『卅八年前の戰局』を再現せしめて大東亞戰爭に一致の觀念を喚起させることとなつた、行事中の主なるものは

區分	主催	日時	場所	要目
分列式	羅南師團	十日午前一〇時=十一時三十分	本府前	男女中等學校以上及び青訓一、八〇〇名參加、分列式を行ふ一部は乘馬自動車及び自轉車にて參加す 受閲者は總督とす
講演會	京城府 京城師團	三月九日午後六時三〇分、同九時三〇分=同十日午後七時	府民館	京城師團報道部大久保中佐の講演 引き續き映畫、將軍と參謀と兵を上映す
展覧會	朝鮮軍司令部	自三月七日至三月十五日	市内五大百貨店	三越=佛印、馬來、ビルマ、印度篇 和信=泰、フィリッピン、蘭印其の他 丁子屋=ハワイ、一般的のもの 三中井=戰車と兵器 平田=大東亞戰爭と兵器
映畫	朝鮮軍報道部 招	三月六日=十一日 三月十一日=十七日 三月九日=十五日	京城寶塚劇場 明治座	大東亞戰爭陸軍篇ニュース文化映畫
ラジオ	放送局 軍司令部	三月十日	放送局	日滿獨伊參加將校の放送
慰問	官邸	三月十日午後四時=八時	龍山陸軍病院	日滿日獨伊參加將校及び病院參加准尉、下士官兵の中から約三百名

敵！味方！近づく黒影
海中に不時着、運命の信號拳銃
ニユーギニヤ海戰 海鷲生還奇譚

【〇〇基地にて八月特派員發】ニユーギニヤ東北方沖海戰で敵艦に體當りわが海鷲新鋭機は殊勲の戰士達はこの戰功においよいよ勇つて次の壯途を秘めてつぎの攻撃命令に待機してゐる、同海戰に参加して壯烈の途中不時着敵から脱出し〇〇基地生還がその運命を案じてゐた戰艦二機はいづれも救出されて自由の身に生還した。以下は不時着生還機の若き海鷲が語つた奇談

その一……命中敵二機を撃墜したた瞬間だつた、われらもまた左タンクと右エンヂンに被彈してスピードがぐつと落ちてきた、もう編隊にはついて行けぬ、機は日海面すれすれまで降下したその時敵三機が追まで増して來る。しかし間もなく敵二機は逃げ去り殘りの一機（優秀な新鋭機）がなほわれらに同航してゐるが、どうしたことか追つて來ない、われもまた撃ち盡して彈丸が盡き機内に落ちてゐる彈丸を拾ひ集めて

彈倉 に込め敵の頭を狙つた、敵機は當然落ちるべき狀態を失つてわれらと同航してゐるに過ぎないやうだ、こうなつてはうるさい敵機だ、兎を頭から抑へて射撃すると敵は慌てゝ逃げ出した、燃料があと〇時間しかない、行けるところまで行くのだと飛んでみる天候も悪くなつてくる陽が落ちて辺りはもう暗い、そのうち油は切れた、覚悟して海中に不時着する、敵の弾丸で穴のあいた機はだんだん沈んで行く、生き残つたわれらは翼の上へ這ひあがつた、辺りは真つ暗だ、信號拳銃を發射し殘つた彈丸を詰めた、拳銃を發射すると數秒の後敵か味方かこつちにやつて來るぞうだ、敵か味方かわれらはちつと眼を据ゑた、そして『ォーイ』と叫ぶと『頑張れ』とはつきり返事、聲を限りにどなり返した『頑張るぞ』と、かうしてわれらはすくはれたのだ

その二……凱歌を揚げて歸途についた皆々は右發動機をやられて片肺だ然戰鬪機は猛然とばかり群り

陣中に昂る反戰熱
將軍は酒と女に狂ふ

【記者】將酒は？

【グルイスロフ】陣營の本部は三百町、加邸を入れると八百町くらゐにはなつた、中隊長で一百町、將校が月給で四円から六円、伍長が六十八錢、兵は四十五錢だつた、將校は二百五十円くらゐだつたが加へを入れると無論それよりも上かつた、クロポトキンは一ケ月五千円、陸軍の司令官は三千五百円位だつたから馬上など遊んでもなほ金が餘り、馬車に積んで戰線を持ち廻るのに困つたといふ話だ

【クロトフ】將校は雞一羽を十四錢位で〃れたから

【ベシコフ】兵卒は公然とは許されて來られなかつたから、將校の中には妾を仕立てて連れて來た者があつた、グルッペルグ將軍は殊にひどかつた、自分の妾のためにモスコーからわざわざ牛乳を運んだりした、なんでも牛乳を滿かが通つてゐたといふので、その妾が入浴したとか聞いてゐる

【記者】退却の狀況はどうか

【グルイスロフ】カンサスリチー將軍は三個の馬車で逃げたが、途中で馬を斬り捨て中で腿から斬り捨て終には一騎となり途に…

【ソコロフ】自分は右足に負傷し…て歩くことが出來ず、十二日間も…ただ眞紫の汁を啜つて生きてゐた

【ウアルラーシン】反戰熱が兵の中に盛んになつたのはそのころだ

【筆者註】戰役の地を踏み越えた二〇二高地に參戰する露兵…

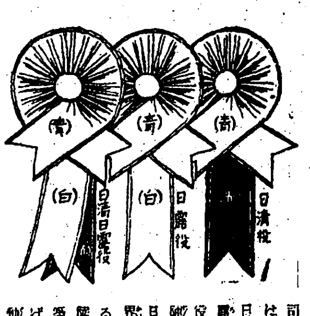
けふの發言者 グイスロフ（元騎…）クロトフ（奉天會戰參加）ベシコフ（…參加）ソコロフ（…）ウアルラーシン（奉天會戰參加）

朝鮮名産 成參精茶

京城 高麗ほうじ茶 東川

汚れたホテルや科學せぬ大學
珍！煙つたい報告

京畿道府市内が京城から煤い煤を取除くは内の汽罐關係者を一丸として煤煙防止委員會を設け監視員を各所に配置して何處の煙突から吐き出す煙が最も黒いかそれによつて煙の出し方も直して行かうといふつまり〃煙の取締〃が先月廿日から十日間行はれたが、その報告によると京畿道保安課で纏めたのはどの煤煙の量黒い煙が白日の下に曝け出された、報告書に現れた黒い煙とは煤煙濃度が一度から五度までのうち五度に近いものが最も出惑でその筆頭が綺麗好きな朝鮮ホテルの五度、遞信局が五度、城大が五度で科學する學校の煙突にしては出來が悪い、次が府民病院の四度でこれも衞生上甚だ面白くないこのほか札束を扱く朝鮮銀行の四度、若草劇の四度が惡く比較的良好とみられるものに三越の一度、年齢ホテルの二度がある



大東亞戰爭下初の陸軍記念日を迎へる京城府では出動の戰鬪を偲ぶと同時に在鄕軍人第七、三百名を當日午後四時

胸間に榮光の記章
百萬府民よ〃先勤〃へ頭右ツ！

司令官から龍山陸軍官邸に招き武勲に花を咲かせることになつてゐるが京城ではこれら招待者に對しては位階勲等の別なく畏敬の精神を昂め日清日露兩役の出征者と三組に分け明治顯面の如く刷る一方日露役、日清役、日露役の世界に誇る帝國陸軍を築き上げた武勲者々たる先輩を偲ぶ一日で判るやうボンによつて一日で判るやう胸間に記章を佩用させることになつた、從つてこの記章佩用者に對しては一般でも心から敬意を表し市内の電車内で行ふやう車内での飮酒禁り等など進んで行ふやう府では希望してゐる

京電でも奉仕

この日京城では日清、日露兩戰役の老勇士に顯際の敬意を表するため、運轉する車内で不行儀のない様に乘務員を訓練して車内乘務に當ることになつたが、八木電氣課長は九日次の如く語つた

市内電物のため京電を利用される老勇士の方に對しては全從業員は感謝の眞心をもつて接待し、粗略の無い様に特に注意を與へてゐますが、この日兩戰役の勇士の方達には勿論無料で乘つて頂くほか、電車係員が出迎へして電車から出擲を乘た、さないやう萬全の策を講じて感謝と敬意を現はすこととなつてゐます

に不時着したわれわれはほつとして陸に揚がつたが、椰子林から黒い土民が集つてガヤガヤいつてゐる、われわれに對して敵意がないやうなので呼び寄せて『ジヤパーズ、ネヴイー』といつてやるとよく判つたらしいそれからは椰子の實を持つて來たり、よく親身になつて世話してくれた。その後のうちに敵機の襲撃を受け機上戰死を遂げたなどを勇敢に奮鬪して陸に揚げ、心からなるお通夜をした翌二十一日朝は雨が降つてゐたが友軍機の爆音らしいものを聞いた、それから間もなく飛行艇が飛來した機上から『爆擊と一緒に乳パンを投下してくれた、翌日の紙片には〃あす救助に來る〃と書いてある。有難かつた、昨夜來まる頭を出して來た、乳パンの何かつたことといつたらない、この夜戰友の遺骸を墓地に附した、二十三日朝船が來た、われわれは救はれてすぐ海池に趣つて戰死した戰友の手腕を語り合ふ身の幸福をしみじみと味はつた戰死した戰友もきつと武裝の為でこの戰果を喜んでゐるに違ひない

戰友 の遺骸を…

時計の修理は村木へ

釘本藤次郎翁表彰會から献金

京城府内…釘本藤次郎翁表彰會…つきり會議がなかつたのに既に登

シンガポール占領祝賀情景献納寫眞 締切 三月十日まで 前線將士へ贈る慰問寫眞に付き多數御應募御願ひます

戰ひはこれからだ！ ■特に…常習便秘・食慾不振に 增健榮養ピルツ剤 ミクローゼ 賣：捌：强：生 MS

輝く第卅七回陸軍記念日

部隊演習參觀團募集

一、日時…三月九日(月)午後六時半
一、會場…京城府民館大講堂
一、講演…京城師團報道部 大久保中佐
一、映畫…イ、日活特作・陸軍省後援『將軍と參謀と兵』ロ、日本ニユース(最近着)
一、入場無料…但し招待状持參の方に限る
後援 陸軍省・朝鮮軍司令部
將軍と參謀と兵 映畫特別試寫會
一、期日…三月十日(陸軍記念日)
一、集合…午前十時迄龍山三角地廣場集合
一、會費…不要(二十名以上の團體申込に限る)
一、申込…團體名、參觀人員及び引率責任者名明記の上本社事業部宛申込まれたし
主催 京城日報社

赤誠の翼二機
記念日を前に軍へ献納

…では同會の献金が三十七萬圓を突破するとになり七日金堤郡…の國防献金募集に…京城府…が代表して府に献金、府では…をまとめた…百五十圓づつそれぞれ献金の手續きをとつた

高射機銃献納

全北扶餘…は最近の赤々たる戰果に感激し高射機銃一…を申合せ基金を募集中であつたが…五千圓を…氏が…して…したので八日代表…氏…して献納の手續をなした

電信電話制限

…電話は…一部故障…となつたため…遞信局では…時…を九日から制限することになり九日左の如く發表した

遞信局發表 昨八日午後から電信線…電話線は昨八日午後からその一部故障のため通信障害に…到底疏通しきれないので故障回復するまで内地行の電報は至急報以外は受付を見合せまた電話は軍用官用、新聞通信關係以外の申込は制限することになつた

華僑中學に基金卅萬圓

【仁川電話】…京城中華總商會…氏の提唱によつて全鮮約五萬の華僑が一丸となり華僑中學を新設すべく去る二月以來建設運動を開始、仁川在住約二千名の華僑代表仁川華僑商會…三氏が中心となり六日までに取纏めた華僑中學新設基金は仁川だけで既に五萬圓を突破してゐるが、目標の基金五十萬圓のうち全鮮で第一回分卅萬圓は今月中に取纏め到る…を第一回分として廿萬圓を取纏め最後の目標額五十萬圓を取纏めることになつた、基金の全額纏まり次第財團法人として京城か仁川にいよいよ華僑中學を新設、日鮮華共學として日本文化、教育、精神に透徹せる共榮觀念の手を固く握らうとするものである

科學協會理事會

昨夏結成された朝鮮科學協會では大東亞戰勃發以來着々陣容を整備具體化をめざし七日午後三時から京城科學館において理事會を開催、巡回展示會開催ほか諸事業について打合せを午後五時散會した

謝 失火御見舞
一昨夜出火の際は消防隊、警察署員並防護團、愛國班諸員早速御馳付被下多大の御盡力に預り何共御禮申上候且又御見舞を忝ふし御禮申上度候は一々拜趨御禮申上度存候得共混雑中にて御芳名御伺洩も計り難く不取敢以紙上御禮御挨拶迄如斯く御座候
昭和十七年三月九日
京城 片倉製絲紡績株式會社 京城製絲所

京の名藥
確かによく効く
定價 五十錢・壹圓
井上目藥
京都 井上清七製
正本家 京都 井上清七製
京都・麩屋町通・佛光寺南入

斷食
高木式 早川斷食寮
京都 天安本町

高橋海軍大將激賞の附錄
ハワイ大海戰圖
歴史に輝く大場面、目の邊り見る如し！ 古嶋松之助畫
全國同胞必備の記念名畫。新聞二頁大、美麗多色印刷、額面用として
キング三月號に添附
大評判につき書店ですぐお求め下さい。 定價五十錢

おせんたくには
洗劑 アカネ

セントウ萬年筆地方營業所募集！
地方營業所募集規定！
半額提供!!
送金方法！
セントウ萬年筆本舖第一營業所 東京芝神谷町十八 振替東京三九三一五番

せきにパラコニン液

らい病新治療劑
天六病院長 デキーン博士 高木ドクトル
▲自宅療法可能▲副作用ナシ▲文獻贈呈
ヒドノコール注射と内服劑
▲本病が是迄不治であつたわけ
▲本病が不治で無い理由
▲當研究所の誇と其使命
發賣元 大阪市北區 高木化學製藥所

生徒募集
夜間 三年制 朝鮮工業技術學院
入學資格…
東洋工科學院 生徒募集
京城府…

利原鐵山養成生徒募集
募集人員 八〇名
應募資格 …
願書締切 昭和十七年三月十五日
入所試驗 同三月二十日…
詮衡場所 …
成興職業紹介所

當社長中村正雄儀豫而病氣療養中の處養生不相叶三月八日午後十一時四十五分永眠致候間茲に生前中の御厚誼を拜謝致し此段御通知申上候
昭和十七年三月八日
中村醫石機商會

中村家御用達 ニシヤマ

徹宵勤務！ ノーシンで引受けた！

パレンバン攻略從軍記
空襲、機雷原を突破
輸送船團・血の進撃

【パレンバンにて浅道（昌司）特派員陸軍報道班員七日發】涙を壓し時を壓して待つこと幾日、あゝ決行の日は來た、パレンバン攻略が決行されたのだ、記者らは特に許されて某部隊に從軍、バンカ島ムントク攻略、さらにムシ河溯江部隊に從軍しパレンバン攻略を目のあたりにし、またパレンバン市民の喜びに沸く表情に接し得た、以下パレンバン攻略從軍記である

十四日午後〇時明滅するバンカ島の燈影を左舷に望んでわが輸送船團は警戒を終つた。月はなく降るやうな星月夜であつた。輸送船團相ふくんで基地を出發した。いつの間にか輸送船團の主力が見えなくなつた。ムントク上陸部隊だけを殘して主力はパレンバン攻略に向つたのだ。十五日午前〇時、ムントク攻略艦隊は已に乗り出した。ムントクは目も鼻も黒い闇の中にだまりこくつてゐる。落着かない沈默のうちに潮がながれた。午前三時半各輸送船から一齊に舟艇が水面に下された。まだ飛行機も砲彈も飛んで來ない、緊張に赤く血走んだ勇士の目には何物も恐れない不敵な闘志がきらくと光つてゐる。やがて舟艇はザザーッと白波をかんで海岸に乗上げた、甲板から闇をすかして見てゐるとひらりくと陸上に飛び立つ勇士の姿が影のやうに椰子の林間に吸ひこまれて行つた。やがて「上陸完了、敵の抵抗なし」の報告がとどいた、何といふ張合のなさだ、敵はわが來襲に逸早く逃走してしまつてゐたのだ。陸軍部隊は直ちにムントク飛行場を占領した。あまりの呆氣なさに記者らも。しかしつぎの瞬間にはまたハッと緊張感をよび戻した。われくを乗せた小艇は早くも船團とともにパレンバン攻略艦隊の追及に移つてゐた、艦はしぶきを蹴立て暗い海上の前進をつゞけた。午前八時半やつと艦隊に追ついた。それからは

終日間斷なく襲來して來る敵機との死闘が續いた、午前九時四十分小型機二機が飛びかゝりに午後四時五十分までに前後六回約三十七の敵機群が襲撃して來た、船團には飛行機がなかつたのでその度に彈幕が張られ、ゴーッと敵機の爆音が頭上近く迫る、敵機の爆彈は目標に見ようがひがなく行き過ぎ、ばつたり冒險ちをつゞける、船團は砲、機銃のほかに小銃までが防御に加はつた、その中で報道班の二目記者が襲ひ來る敵機にカメラを向けてカチャツくとシャッターを切つてゐた、船團はムシ河々口に夜を迎へた、十六日の夜明を迎へた、いよくムシ河を遡江してパレンバン攻略の日だ、前夜來警戒しつゞけた陸軍の兵士がまた交錯してゐた、その時明けきらぬムシ河の濁流を矢のやうに下つて行く一千噸級砲艦一隻がその光芒の中にとらへられた、明かに敵艦だつた、轟然一發巨砲が火を吐いた、つゞいて二發、三發一隻の砲艦が甲板にパッと大煙柱が吹き上り一分、二分と崩れるやうに水中に沈んで行つた、殘る一隻は必死となつて逃れやうと足掻き廻つたが、それも永くは續かなかつた、一發必中の彈丸がぐくつと同艦の横腹にめり込んだ、それつきりだつた、午前八時旗艦の檣上高く

出發信號が掲げられた、掃海隊、掃海艇つゞいて〇〇そのあとに輸送船團が縦隊をつくつて連なつた、記者は前衛艇〇〇に乗組んだ、ムシ河の河口は幅一千米餘、水深七米餘り、濁流滔々として流れは矢の如く早く前進は困難を極めた、さらに兩岸は鬱蒼たるジャングルが水際まで迫りどこにどんな攻撃武器がかくされてゐるか見當もつかない、溯江二時間河幅は三百米ぐらゐになる、風がばつたりやんだ、息詰るやうなむし暑さがやつて來た、スコールだ、一寸先もみえない豪雨で前進も出來ない

この時友軍機一機が機雷附近を水すれくに飛行してゐると見る間に一本の[illegible]がザブンと水の中に飛び込んだ、このまゝ流れ落ちたら危險、一度と浮ばぬといふこのムシ河に何といふ大膽さだ、固唾をのむうちやがてぽつかり浮んだ、その兵は見事な泳ぎで[illegible]に抱きついた、[illegible]の報告を齎したのだつた、それによるとパレンバン飛行場はすでに降下部隊により確保され敵は昨日來退却した、上陸隊一隊が確守し附近に敵影なくムシ河本支流とも兩岸に敵勢なしといふことであつた、船隊は急ぎに急いだ、午後五時過ぎ見張所の監視兵が「飛行機六機右白十度」と叫んだ、さつと緊張がはしつた「六機は敵機、友軍機二機迎撃しつゝあり」

友軍機も全馬力で頭上を通り過ぎてしまつた、船隊は前進をつゞけた、やがて前方に天に冲する黒煙が目に映つた「火が燃える」見張兵が叫んだ、いよくパレンバンだ、敵が放火して逃げた石油タンクが黒煙を濛々と揚げてゐるのだ、火は一ケ所ではない、空に聳つて四ケ所から猛烈に燃え上る、黒煙が絡み合ひもつれ合つてパレンバン最後の日を語つてゐるのだ、河の色が急に濁つた、紫色に赤黒色に陽ざし加減でき

らく光る石油だ、午後六時近く最初の機雷が發見された、爆破でこれを處分した、百米以上もある水柱が吹き上り[illegible]まで落ちかゝつた、第二、第三の機雷が爆破された、いよく機雷原に入つたらしい、運命の十七日朝は静かな流れに明けた、昨日に變らずパレンバン上空は黒煙に蔽はれてゐた、昨夕[illegible]した艦艇はその黒煙の下に假泊してゐるのだらう、大膽な敵艦の航行を安全にするため早くも〇〇艦は機雷の掃海に當つてゐる、十一時近くだつた、五百米先の部落にトーチカらしいものがあるから陸戰隊を揚げ掃蕩させることになつた、岸に近づくにつれ

林の葉陰にまだカムフラージュした窟の後にはつきりとトーチカが見え砲まで備へられてゐるのだ、船は岸から卅米ばかりのところに錨を入れた、記者も陸戰隊とゝもに上陸した、有るくく、遺棄された機銃、小銃彈、防毒面、軍服などが無數にも取散らされ如何にあわてゝ逃走したかが證明される、トーチカの周圍は土囊が高く積まれ鐵條網が嚴重にも張りめぐらされてゐた、傍に[illegible]ビールなどがそのまゝだ、その時だ、ひくゝ垂れこめた雲間を破つて突然頭上に爆音がしたかと思つた瞬間敵機はバリくと機銃掃射を行つた、見張所で高射砲を構へてゐた〇〇[illegible]兵が[illegible]を持つたまゝ「アッ」と斃れた、たふれながらも[illegible]は『[illegible]をつけろッ』と部下を叱つた、黒い[illegible]が[illegible]なつてゆく、泣きながら部下が[illegible]を持つた、[illegible]といふか部下を[illegible]ませまいとして[illegible]、記者は[illegible]とこみ上げてくる涙をみせまいとして[illegible]

望遠鏡を握りしめたまゝ[illegible]

[illegible]

燃え盛る焔の中　涙で振る卍旗
敵中に咲く　日獨親善譜
サンボアンガ上陸戰

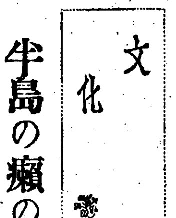
【比島サンボアンガ七日發井海軍報道班員發】サンボアンガ敵前上陸に描かれた海軍陸戰隊をめぐるドイツ人との感激的親善譜が目下南海に活躍する海の勇士達の話題となつてゐる

二日未明十四日月が椰子の葉越しに冴えわたる中に敵の集中する銃砲火を物ともせずサンボアンガに敵前上陸したわが海軍陸戰隊勇士が前方の敵兵舎に突入した時、燃え盛る焔の中を轉び落つてハーケンクロイツ旗を振揮した男女四人のドイツ人が狂つたやうに飛込んで來た途端にばつたり斃れてしまつた、陸戰隊兵が銃撃の中を[illegible]かけ寄つて見ると息も絶え絶えになつたこの四人がにつこり微笑みながら勇士の手を差しのべて來るではないか、しつかと抱き起してやると何處で覺えたのか『ダンケ萬歳ダンケ萬歳』僅かに微笑しながらさんくと涙を流してゐるのだ、間近でわあつと喊聲が湧き起つて敵の兵舎に早くも[illegible]、やがて白々と南海の夜が明けて來た、陸戰隊兵の[illegible]盟邦の友らは未だ[illegible]ぽつりくと語るのであつた

私はミュンヘン生れのデー・フランシスといふもので三人は妻とそして娘です、サンボアンガには十幾年居住してゐるのですがドイツが米國に宣戰を布告すると同時に親子四人[illegible]に監禁されてしまひました、マニラが日本軍に占領されたことを一月末に聞きましたので今にこゝにも日本軍がやつて來るのだとそればかりを唯一の望みとしてゐました、今朝砲聲に目覺めて見ると、[illegible]本部は炎々と燃えてその中を米比軍が右往左往してゐるのです、日本軍が來たのだと直感した私達は素早くトランクの底に隠してゐたナチス旗をとり出すが早いか死物狂ひで飛び出して來たのです、彈の中を突進する日本軍の姿を眺めた時にはあまりの喜びに胸がどきくと波打つてぶつ倒れてしまつたのです

夜が全く明けはなれて赤道直下の陽光が水平線の彼方に昇りはじめた、海の勇士達が分けてくれた菓子を貪るやうにほゝばつたフランシス親子は、陸戰隊とゝもに市内をかけめぐりながらその道案内を勤めたのであつた、さうした中に[illegible]の密林に監禁された邦人婦女子六十九の名所を逸早く知らせて救出の道しるべに立つたのもこの盟邦ドイツ人の親子達であつた。

文化
半島の癩の話〔一〕
北村精一
【京城帝大醫學部教授】


永田春水氏畫

癩の問題は、今や半島や内地に限られた小さいものではない。癩の蔓延は支那、泰、ビルマ、フィリッピン、蘭印に及び、約四百萬人の患者ありとされてゐる。されば大東亜の盟主として、全アジヤの指導的立場に立たんとする日本の[illegible]が、是が非でも解決をつけねばならない最大難事業であり、全日本の[illegible]を[illegible]つて徹底に努力してゐる。文部省も『第二癩ニ關スル[illegible]』を設けて、[illegible]の[illegible]を[illegible]し、在來の[illegible]の消極的對策を一歩進めて、[illegible]に[illegible]の[illegible]に[illegible]してゐる。[illegible]研究の人々にのみこれを[illegible]してゐては絶對に不可能で、國民ある一般民間の心からの[illegible]を必要とするものである。

内地の癩患者數は昭和十五年末一萬五千七百六十二名で、内[illegible]所收容者現在一萬二千名、半島での患者數は昭和十一年一萬二千三百名、昭和十二年一萬三千七百八十六名、昭和十三年一萬四千百二十五名、昭和十四年一萬四千四百二十八名とその數は年々增加して居る。今日小鹿島を初め大邱、釜山、麗水の三ヶ所の癩療養所に收容されて居る數は七千八百九十二名で、これ等收容數を内地と比較すると、一見内地より少いなどと考へたら大變な誤りで、七千萬の内地人に比し一千四百萬の同胞との比を見る時、半島においては實に一萬人につき六名以上の高率であり、[illegible]に比し[illegible]である。

以上は警務局の統計であるが、然し實際においては[illegible]の[illegible]は[illegible]、京城[illegible]を訪ねる[illegible]患者も年々增多の傾向にあり、然も患者自ら癩なることを自覺せずして來るものが多く、その殆ど大部分が重症者にし[illegible]を[illegible]させられ、[illegible]と共に增加して居り、また[illegible]大阪に[illegible]、大阪帝大[illegible]の[illegible]が殆ど半島同胞であることとは大いに[illegible]して居るのである。最近[illegible]、交通發展と各般の[illegible]進歩の[illegible]に伴ひ、人口の移動が[illegible]しくなりつゝあるは、在來[illegible]北西[illegible]より[illegible]を[illegible]の[illegible]あり、又[illegible]より[illegible]半島同胞にして[illegible]のため[illegible]必ずや[illegible]なるものがある。

京日俳壇　高濱虚子選

海州　雨水　潮林
早梅に湖光の水の動かざる
退院の眼に早春の海蒼く

畔山　岡田のぶ志
探梅やたゞせゝらぎにそふ如く
探梅や景色しづかに畔ほとり

京城　三谷[illegible]
[illegible]のなごやかにすみ春の[illegible]

同　米村　左堂
[illegible]すつてをれば栗しや木の芽雨

同
帆柱の月に[illegible]れつゝ汐の[illegible]

甲元　杏処
霧氷を踏み鳴らしつゝ岬をめぐる

静山　秋鳳　洞
霧氷したゝか浴びて大炭る
[illegible]へて陰はあたゝかに
とめどなく誰か吸き出り海白し
春風や湖畔の丘はみなまろく

春季雜詠　三月廿日締切

春向き婦人服
活動的で美しい考案

◇……寒い冬から解放してくれたオーバーもうるさくなる頃、春への楽しい期待として次から次へと服装のプランも計畫されるでせう、材料の制限や時局柄種々と遠慮して服装を選びませう、服装はどこまでも活動的でそして美しさをも表現出來るものでなければなりません、若い方に向くワンピースと中年向のツーピースを一つ御紹介致しませう

◇……生地はラナックス（これは大豆の纎維から出來たもの）で一ヤール五圓二十錢で半袖のワンピースの出來上り三十圓程度、ツーピースなら四、五十圓程度、また更生服は地が派手でしまつたものにも[illegible]、丈夫でこれなら普通の既製服より安く出來上ります、中年の方は[illegible]と見に置きをおき、[illegible]で四十五圓位で出來上ります【カネボウ婦人服部調べ＝挿繪右は若向きのワンピーススタイル、左は中年向きのツーピーススタイル】

映畫ニュース
陸軍記念日と各館の上映物

大東亜戰下近く迎へる輝く第卅七回陸軍記念日を下して京城府内各映畫館では特別番組を組んでゐるが、そのうちの目覺しいものを拾つてみると次の通り
◇京日文化映畫劇場　理研科學映畫作品、陸軍省報道部後援になる兵器陣中の花形大砲の全貌を描く『大砲』全一巻
◇和信映畫館　日本映畫社提供支那派遣軍報道部監修の長篇作戰記録『戰ふ兵隊』全六巻
◇京城寶塚劇場　滿洲における冬の軍隊生活を[illegible]と結びつけて描いた滿洲映畫協會作品『冬と兵隊』全一巻
◇東寶若草劇場　北は滿ソ國境からマレー、ビルマに至る大戰線に活躍する將兵の勇姿と戰爭の記録『戰線二萬粁』全三巻
◇明治座　情報局選定日本映畫社製作『大東亜戰爭陸戰記』の總編と第一部『輝ゆる太平洋まで』全七巻『開戰からマニラ陥落まで』を出す

不連續線

血　日清戰役における[illegible]少年木口小平、[illegible]日露戰役の[illegible]の精神[illegible]。[illegible]日露戰役に[illegible]の[illegible]が[illegible]。中佐等の[illegible]つけられてゐる。前の上海事變における[illegible]士の[illegible]は、[illegible]の記憶にも未だ新しいであらう。然し今次大東亜戰爭勃發以來、ハワイ[illegible]における[illegible]の壯烈な攻撃は、日本人でなければ知ることの出來ない崇高である。それにしてもわれく日本國民である限りに於いて、さうした[illegible]の壯烈を、この身を以て[illegible]道はないものかと、[illegible]はわものがあるであらうか。[illegible]の血は[illegible]。たゞこの血。その心の發作では[illegible]ない。[illegible]である。

『仰げ大空』放送

朝鮮總督府遞信局、航空局後援の下に朝鮮放送協會が目下[illegible]中の『仰げ大空』は京城放送局が先頭となつて國民皆航の運動となつて[illegible]來る十日午後六時五分第一、第二放送を通じて全鮮中繼放送されることになつた、なほこの晩の放送は大邱分局より[illegible]するもので、[illegible]は[illegible]、歌手は中川[illegible]氏が擔當する

今週番組

東寶中央劇場（十日から十二日まで）◆[illegible]
浪花館（十一日から十五日まで）◆[illegible]
城南映畫劇場（十一日から十三日まで）◆[illegible]
東寶若草劇場（十一日から十五日まで）◆[illegible]

新刊紹介

◆婦人俱樂部（三月號）[illegible]
◆キング（三月號）[illegible]

三國志
吉川英治（作）　矢野橋村（畫）【748】
赤壁の巻
柳眉剣簪（一）

その時、玄徳の身邊に、一つの異變が生じた。それは、劉琦君の死であつた。

故劉表の嫡子として、玄徳はあくまで琦君を立てゝ來たが、生來多病の劉琦は、つひに襄陽城中でまだ若いのに逝去した。

孔明はその葬儀委員役の任を兼ねまして、荊州へ歸つて來ると、すぐ玄徳へ求めた。

『琦君の代りに、誰か、直に城濠の守りにお遣はし下さい』

『たれがよいか』

『やはり關羽でせうな』

孔明も心では、何といつても、關羽の人物を認めてゐた。

劉琦の死後、玄徳の胸には一つの不安が醸されてゐた。呉の使が、待つてゐたとばかりに、荊州を返せと云つて來るにちがひない事である。

『それは必ず云つて來ることでせうな。琦君が死んだら荊州を返すと先に約束したことですから。……が。御心配には及びません。そのときは孔明がよろしきやうに計ひます』

孔明がさう慰めてゐると、それから二十日ばかり後、果して、呉の魯粛が、琦君の喪を弔ふ爲、呉侯孫權の名代に――と、稱して、荊州へ使に來た。

魯粛は、城中の客室に、呉侯からの贈物を供へ、哀みを述べた後、玄徳が設けの酒宴に迎へられて、四方山のはなしに時を移してゐたが、軈てから口をきり出した。

『赤壁の大戰の後、わが呉侯から皇叔には、荊州の地を返還に至つたとき、劉琦君の世にあるかぎりは、荊州は故劉表の遺子のものであると仰せられた。いまはその時も過ぎたことと思ふ。もうこの[illegible]身の程知らずも甚だしい。思へ、君臣の[illegible]を[illegible]するなら、わが君の姓は劉、汝の主人の姓は[illegible]か。よろしく百歩の田地をわが君に[illegible]、身を[illegible]と[illegible]下るのが隣國の安全な道といふものである。――更に、赤壁の大戰が誰の功に依るか、といふ問題になれば、なほ大いに議論があるが、それは云はぬことにする。敢て、こゝでは云はぬことにして措く』

孔明がさう云ひ出したので、魯粛は、氣色ばんだまゝ、その顔を見まもつてゐた。

『天下は一人の天下にあらず、すなはち天下の人の天下である。星眼、三尺の劍をさげて、義を宇内に唱へ、仁を布き、四百餘年の基を建てられしも、末世現代にいたり、中央は逆臣の府、地方は亂賊の巣と化し、荒れに荒れ、百姓の塗炭は數年數まざる状態にある。時に、わが君劉皇叔には、その血に漢室の正統をつたへ、その器においては、救世の資を天地に誓ふ。すなはち中山靖王の後胤にお はし、現皇帝の叔父にあたられる。――いはんや荊州の故主劉表とは、血縁のあひだがらにて、わが君の兄たり、いまその血緣絶え、荊州に主なきにあたつて弟とし兄の業をうけ繼ぐに何の不義、何の不可とする理由があらう。――翻つて、呉侯孫權の素性をたゞせば、元これ錢塘の小吏の子たるに過ぎず、何ら朝廷に功もなく、たゞ呉國の勢に依つて、江東六郡八十一州を横領し、[illegible]なほ[illegible]とせず、[illegible]漢土の[illegible]を呑まんとするは、何の能もなきに、[illegible]その[illegible]をうけて[illegible]にとゞまる。――今

療養生活
第二十卷三月號　喀痰對策號
▽喀痰の本態とその治療法……醫博[illegible]
▽結核[illegible]
▽[illegible]
▽[illegible]
結核　[illegible]
自然療養社　小田原市[illegible]　振替東京[illegible]　定價[illegible]

流行性感冒に
トリアノン
[illegible]

輝く第三十七回陸軍記念日を祝して
十日十一日　二日間
有料試寫會
將軍と參謀と兵
陸軍省 後援　文部省 推薦
日活が傳統の榮譽をこの一篇に賭けて東西總動員の情報局國民映畫參加巨篇！田口哲が一代の野望を遂げた不敵のメガホン！
阪東妻三郎　中田弘二
井染四郎　伊澤一郎　高木永二　北龍二　林幹
水島道太郎　星ひかる　瀧口新太郎
原作　伊知地進
同時上映
京城寶塚劇場

結核豫防に
ニュートン
Ⓚ

輝く第三十七回陸軍記念日
絶讃の嵐
大東亜戰爭擊滅戰記
上映中
團體の御觀覽　御有利に御相談申し上げます　電話②一四八四
明治座

高級清酒
金剛鶴
仁川　朝日醸造株式會社

ネオアルサミノール
三共 SANKYO
驅黴劑の白眉
所謂六〇六號の共同發見者秦博士の檢定を經て完成せるものにして品質效力共に第一位の定評を有する代表的驅黴劑。毎製品北里研究所の嚴密なる檢定を受けその保證を有す。
（包裝）（〇・一五）（〇・三）（〇・四五）（〇・六）（〇・七五）（〇・九）各一管、十管、五十管入
東京市日本橋區室町　三共株式會社
京城府太平通　朝鮮三共株式會社

戰時下の歯磨として
特に現下の國民生活に即應せる點に於て御家庭の好評を博して居ります
◇容器は……紫水晶色の感じの良い硝子壜
◇内容は……獨得の製法に依つて適度の濕ひを保つ藥用潤製歯磨

[illegible]
藥用潤製　**ライオン歯磨**

H4―19
視力（眼の疲勞・とり目・弱視）に
虚弱（血核・榮養・食餘[illegible]）
農林省水產試驗場創製
エーデー
が推獎される
強力なビタミンA・D・B₂、ホルモン、造血素を貯有する水產動物全肝臟を、天然組成のまゝ顆粒化するに成功し、粘膜強化、造血榮養、視力強化の作用により結核性素質を改善し、眞に強固なる體力を作る理想的強壯劑なり。

100錠 2円30錢
水產化學製品　わかもと[illegible]

各種水產團體を一元的に統合

水產新體制案近く建議

朝鮮水產團體の一元的統制をめざす所謂"水產新體制"の確立については、去る二月一日漁業組合中央會主催のもとに京城において鮮内各種水產團體代表者の協議會を開き、種々討議した結果、[illegible]に七名の常任委員を選出して實現を促進することゝし、目下北上中の北野漁組中央會副會長[illegible]近く歸城するので同氏の歸任を待つて實行委員會を開催、原案に再検討を加へたうへ總督府へ實現方を建議することになつた

右新體制案の骨子は現在道を單位として水產組合、漁業組合、水產會の各系統別に分散してゐる各種の水產團體を一元的に統合強化して中央に漁組中央會を中心とする水產業統制中央會（假稱）を創設、各道に右統制中央會の支部を置き總督府の指定する[illegible]の買取販賣權、金融權その他業務遂行上必要な權限を附與して半島水產業の生產面に資材の配給、製品の販賣等を綜合的に實施せんとするものである

而して右案の實現を期するには先づ各道水產會に對する地方長官の監督權を總督府へ移譲させるか又は右中央統制機關へ移行せねばならず、いづれにしても法令の改正乃至法的根據を必要とするので果して業者の所期する如く本府が右新體制案をそのまゝ採擇實現に移すか否かは未知數であるが、これが實現の曉は半島水產界に劃期的な變革をもたらすものとして[illegible]

[illegible]林、內務、財務の各局間との折衝に入つたが、米食關係があつて[illegible]の[illegible]までは妥結し得ない事情にあり[illegible]との話合によることとなるから實行は四月に入るものとみられる、とも[illegible]の折衝に時間を要しつゝある現狀については重要な機會を逸する心配があつて[illegible]が求められる

本府の方針慎重

役員改選と組合強化

漁業組合、水產組合、水產會の三既存水產團體を統合、強化し時局に即應せる新組織を編さんとする所謂朝鮮水產新體制案は業者の間において具體的研究が進められ目下成案を急いでゐるが本府水產當局としては

一、既存各團體は朝鮮水產業の歷史的發展段階に即し必要に應じて夫々誕生をみ、夫々堅實なる發展を遂げ充分使命を果して來たものであるが現在ではその組織目的が時局に即應しなくなつてゐる

二、朝鮮水產業の發展途上においては夫々の地域と[illegible]特殊性格を有する各團體が必要であつたが現在では却つて相互の競合、摩擦が見られるやうになり朝鮮水產業を全體を[illegible]得る統一調に缺いてゐる

三、特に資材統制の今日これが[illegible]に就き個々別々の要求や利益を主張するにおては[illegible]の原則に反し將來斯界の圓滑なる發展を望み難い

等の見地から三團體の統合強化を必要と認めながら新たにこれ等を一元的に統合する組合體々系[illegible]における比重及び[illegible]を缺き却つて目的達成に逆効果を及ぼす懼れがあるので特に愼重を期し

（2）[illegible]の合理的運用により能率の向上化を圖る計畫を樹立實行せしむ

二、各水產團體に關しては

（イ）中小漁業の指導を強化し漁業の調整を圖るとゝもに生產指導の中心機關たらしめるとの方針を持して居る

（1）漁業組合の統制を行ひ[illegible]の向上を圖る

海上小運送業法的再編

實行は四月か

海上小運送業の法的再編成の實行は[illegible]が、同業の[illegible]との話合は[illegible]の[illegible]を要しいたづらに遷延をみてゐる[illegible]

府內の商業組合

廿二組合に達す

京城商工會議所二月五日現在における京城府內の商業組合設立數は十一組合に達したが、これに目下設立準備中の左記十一組合を加へれば本月末頃までに合計廿二組合となるわけである

▲朝鮮商品用品商業組合▲京畿道織維加工雜貨卸商業組合▲京城吳服小賣商業組合▲京城吳服商業組合▲京城朝鮮織物商業組合▲京城家庭金物荒物商業組合▲食糧品卸商組合▲同小賣商業組合▲同食肉販賣商業組合▲朝鮮皮革販賣商業組合▲京城鮮魚飲食店商業組合

三井鑛山が昭和飛行機平壤工場買收

東洋輕金屬は多獅島のアルミニューム工場を今年中に操業を開始するやう、工場の建設と機械の據付を急いで居るが內地からの資材機械類の移入も優先的に扱はれる筈で、今まで豫定より遲れて居た工事も、今春から夏にかけて取戻す[illegible]

三井鑛山では東洋輕金屬が多獅島の[illegible]アルミニューム工場操業開始に伴ひ、朝鮮に新たに工場を新設するに決定し、平壤にあつた昭和飛行機の平壤工場を買收することに決し昭和飛行機と三井鑛山との間に買收の契約が成立した、まづ現在の設備を利用して部分品の製造から始める計畫であるが、三井系の資力と技術とを以て急速に大規模の航空機製造の一貫工場にまで擴大することを決定してゐる、また部分品の製造の如きは滿洲方面にも供給し得る設備とする豫定である

更生金融

第一回委員會 十四日に開催

[illegible]府にても[illegible]ては、生業資金の[illegible]し研究を進めてゐたが[illegible]しては[illegible]もなく[illegible]に至つたので來る十四日午前十時三十分より本府第一會議室において第一回中小商工業者金融懇談委員會を開き審議することゝなつたので近く各道に[illegible]を示し[illegible]開始することゝなつた

朝鮮無盡協會消滅

全朝鮮の無盡業者によつて去る大正十三年組織されて來た朝鮮無盡協會は昨年まで每年京城において總會を開催してゐたが、中央無盡會社の統合が進捗し現在では中央と大邱のみとなり近く大邱の合同も實現するので同協會は自然消滅をみることゝなつた、從つて本年四月の例會は開かぬことになつた

消化と睨合せて鮮滿の電源開發

玉置鴨電常務歸任談

東上中の鴨綠江水電常務玉置正治氏は八日歸任したが、左の如く語る

日滿支電力懇談會に久原社長と出席した、朝鮮總督府、滿洲國政府、興亞院、內地側、企畫院、遞信省、東京および京城兩電氣からも代表者が出席した、大東亞電氣の一部分として電力部門を今後如何にするかといふ問題を議上にして種々論議した、われ／＼の主張として

電氣はあくまでも化學工業における原料の一手段であるのだからこれを如何に使用するといふ消化部面との適應性によつて出發すべきであり、電氣の電力さへ起せば良いといふやうな時代の古い考へ方は修正さるべきで消化部面との綜合計畫、竝に經營主體としての企業體[illegible]大規模[illegible]一體となつて[illegible]を付ふべきであると考へる、近く日滿支電力調整委員會といふやうなものを組織して

政府の施策に協力することになろう、[illegible]の資金繰りについては關係當局や金融機關に說明して置いたが、發電や企業が巨額の資金を必要とすることは何づれも充分に認識されてをり政府としても資材と同樣資金についても相當努力に配慮してもらへるものと信じてゐる、これについては東上中の上瀧基氏、水田財務局長も[illegible]側面的にいろ／＼盡力して頂いたので今後とも[illegible]の推進力となつて頂けるやうになつたことは[illegible]將來に大きな光明を齎すものといへよう

西鮮水力も資本金一億圓の會社設立の正式認可申請をしたが、朝鮮水力の三億圓への增資申請もこれと前後して目下中央政府で審議中で近日中に認可されるにならう

資材方面にあまりに關係のない準備工事から進めて行く方針だ、最も滿洲國側は第二次五ケ年計畫における發電部門として鴨綠江第二次開發のうち義州、雲峰はさしあたり本年度の物動計畫が決定するまで

本年の物動は極めて窮屈だ

田中本府企畫部長談

【釜山電話】新年度物動計畫のため東上中であつた本府田中企畫部長は九日歸任「大陸」で來釜したが、釜山で語る

物動計畫は四、五月ごろにならなければ本格的にはならぬが、今年の物動はどん底と言つて差支へないほど窮屈なものと考へねばならぬ、日本の圓滑によつて日本は非常な物持ちにはなつたが、輸送設備や輸送機關が十分な現狀ではこれによつて民需が潤ふほど緩和されるものではない、即ち石油は輸送に特殊な設備を要し生ゴムの輸送は比較的容易であつてもこれを處理する設備やカーボンブラック、アセチレンブラック等の生產が伴はねば海南島の鐵鑛も新年度の物動計畫には相當取り入れてあるが、これとても輸送問題だ、かう考へて來ると朝鮮の鐵は輸送を待つ効果的に促び得るといふ地位にあるところから益々重要性が加へられて來る、と同時に重要資源を強化し、增產するには適當な業者の數を適當な程度に強く押せねばならぬから石炭、石灰、木材、紙漿、縫物、鑛山、國內物資の鐵と生產力の增產、勞力の適正な配置なきを期すべきだ、重要物資新規事業は本月中旬ごろ小日山理事長が來鮮の上關係各局の諮問に於いて相談し直ちに事業を開始する

增資公募せず

吉田江界水力專務歸城談

東上中の江界水力專務吉田彥三氏はこの程歸城したが左の如く語る

[illegible]總會の一應認可されたので去月廿八日東京支店で臨時總會を開き株主の承認を求めた、今回の增資額五千萬圓は一般には公募せず、從來の株主に引受けてもらふことゝして大體五月はじめ第一回拂込をすることに決定しかねる

朝運從業員の養成所を新設

朝運では小運送從業員の養成所を設立することになり、府內大廣町に校舍を建築中である、同養成所は本科と講習科の二科に分れ、入所資格は本科は年齡十二歲以上十五歲未滿、國民學校初等科修了程度で、修業年限は三ケ年、講習科は中等學校修業程度または社員中より優秀な者を選ぶことになつてをり、養成期間は三ケ月以內で第一期の募集は十名、七月一日開校の豫定である、なほ本科生に對しては授業料を免除するとゝもに入所中若干の手當を支給することになつてゐる

昭和電工アルミ工場を鎭南浦に新設

昭和電工では今回鎭南浦に新たにアルミニューム工場を設けるに決定した、鎭南浦には朝鮮理研金屬の年產千五百トンを原料とするアルミニューム工場があるが、同社工はこれとは別に工場新設の計畫にて、この目下鎭南浦周辺の地點にアルミニューム工場設置のことに決定してゐるが、平壤附近の明礬石を使用する[illegible]工場建設をすると內定してゐる鋁料はボーキサイトからアルミニュームを製造するにも[illegible]明礬石からアルミニュームの將來を[illegible]るにも、立地條件が最もよいからである、昭和電工の鎭南浦工場は研究段階より[illegible]手から操業開始までの期間を、資材方面に就ても[illegible]期待されてゐる、昭和電工は同社の經營工業の技術が優秀であると共に華北に於ける明礬石からのアルミニューム製造にも先鞭をつけてゐるが同社の鎭南浦進出は[illegible]することになつた一有力原因である

株式 氣乘薄く閑散

前場　[illegible]の株式市況は[illegible]、新東は三十一圓八十錢と前日に比し三十錢高に寄付き、あと同値を高値に一圓四十錢高みに引張み、新鐘九十[illegible]

照明彈

相次ぐ大戰果をみてはさすがに賣氣にもなれず下値には[illegible]買ひがありこれに[illegible]

放資相談

御資金の運用と利殖

[illegible]

野村證券 京城支店
京城府黃金町二丁目東拓前

株式（九日）

朝取短期

銘柄		寄付	大引	高値	安値
朝新	前場	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	前場	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	前場	一三一・八	一三一・八	一三一・八	一三一・八
鐘新	前場	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝新	前場	九八・六	[illegible]	九八・六	[illegible]
滿業	前場	九八・[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	前場	九八・[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周波	前場	四一・〇	四一・〇	四一・〇	四一・〇
朝石	前場	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	前場	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

朝取現定と日步 / 大株長期 / 大株短期 / 東株短期（第一部・第二部）/ 實物・中引 / 東株短期現物 / 商品（九日）/ 金融（日歩概況七日）

[illegible]

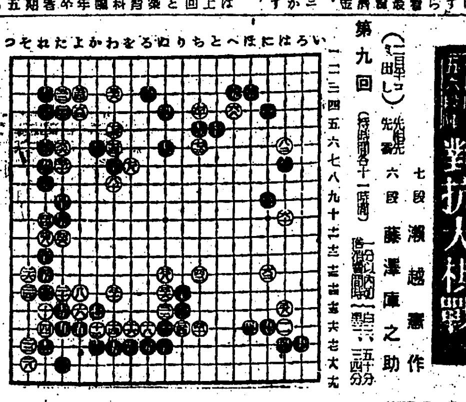
現株仲値（九日十一時現在）

[illegible]

對抗大棋戰

七段　瀨越憲作
六段　藤澤庫之助

第九回（一目コミ出し）



樂觀ご打過ぎ

自評七段　瀨越憲作

[illegible]

勝繼戰

本社選抜棋士　二十四傑

香落　六段　長谷川清二郎
五段　北楯修哉

第四回（北楯五段二局勝三局目）

木村名人講評

[illegible]

安川モートル　總代理店　會商井原　京城府黃金町三丁目　電話本局2305・7667番　平壤・釜山・咸興

短期　株　現　ウ　內海淸藏商店　京城明治町

山本源作商店

朝鮮證券取引所最古の老舗　白井友之助商店　商工産業　證券投資　銃後の報國

三和株式現物店　朝鮮取引所實物取引員　京城府明治町二丁目

急性慢性胃腸病に　トイタ　壓倒的好評胃腸病にはトイタ　健康ハ胃腸カラ　きゝめ三十分　急性慢性下痢症には百發百中　責任本舖　限田春日堂藥房

正しき月經促進薬　エムナウ

アルミ部門の產業會社へ其筋の三倍增產命令　昭和電工　日本輕金屬　同新　東亞證券

銃後の榮養　行列を作つて買ふよりも―　新鮮な野菜や卵と同じ効果を持つビタミンを攝りませう。食物不足は恐れるに足りません毎日の健康はこの一顆で大丈夫！　ワカモト　ハリバ

新發賣　消炎鎭痛濕布藥　粉末エキホス　特徵　一、本劑は微細な粉末ですから携帶に便利で用に臨んで必要量だけ使へますので經濟的で家庭向として最適です　一、本劑は長時間使用出來るやうに工夫してありますから持續時間は任意にして差支へありません　一、本劑は使ひ方も簡便で安全であります　主治功能　感冒、肺炎、肋膜炎、氣管支炎　扁桃腺炎、中耳炎、ロイマチス　神經痛、打撲痛、捻挫等　販賣元　武田長兵衞商店　塩野義商店　製造發賣元　二巴合名會社　（エキホス姉妹品）

登記公告

[illegible]